簡単にIllustratorからカッティングができる。

Plug-in Cutting Software

Windows®/Macintosh®

取扱説明書

D200693

FineCut について

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
FineCut は、他のカッティングソフトウェアに無い直感的な操作と安定したカット環境をご提供いたします Adobe® Illustrator® のプラグインソフトウェアです。

システムとソフトウェアの必要条件

FineCut をインストールして使用するには、次の条件が必要です。

	Windows	Macintosh
パソコン	Pentium プロセッサ または互換プロセッサ搭載の IBM PC または互換機	Power PC を搭載した Macintosh
OS	Microsoft®Windows®98, Windows®Me Windows® NT 4.0（サービスパック 3 〜 6a), Windows®2000, Windows®XP （プロッタと USB 接続の場合は、 Windows2000（サービスパック 3 以降)、 または WindowsXP（サービスパック 1 以降）	Mac OS 8.1J 〜 9.2.2J Mac OS X 10.1 〜 10.2 （プロッタと USB 接続の場合は、 Mac OS 9.2.2J または Mac OS 10.2.6 以降）
モニター	800 x 600 ピクセル以上	
ソフトウェア	Adobe® Illustrator® 8J 〜 10J	
プロッタ	Mimaki CG シリーズ、Mimaki CF-0912 シリーズ、HP-GL 準拠コマンド搭載プロッタ	

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

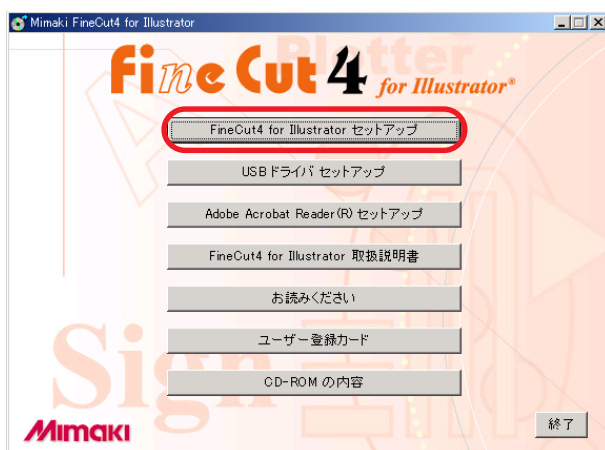
目次

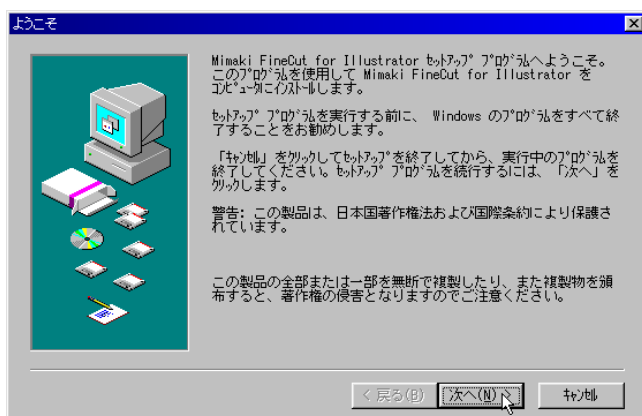
FineCut をインストールする

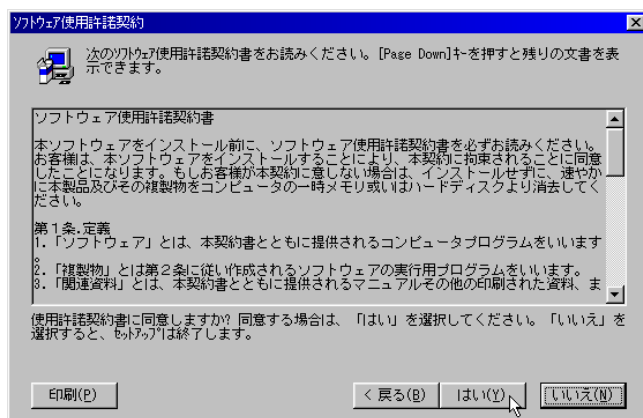
インストール手順（Windows をご使用の場合）

1　パソコンの電源を ON にし、Windows を起動します。

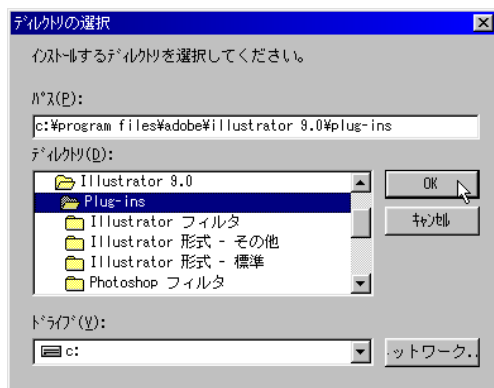
2　FineCutCD-ROM をディスクドライブにセットします。

以下の画面を表示します。

FineCut4 for Illustrator セットアップ をクリックします。

3　FineCut のセットアップ画面が立ち上がります。

次へ をクリックします。

4　「ソフトウェア使用許諾契約」を表示します。

よくお読みの上、契約に同意する場合は、 はい をクリックします。

5　インストール先選択画面を表示します。

参照 をクリックし、インストール先を選択します。

インストールするディレクトリを選択後、 OK をクリックします。

6 インストール先選択画面に戻ります。

必要に応じてコピー先のディレクトリを変更する場合は、参照 をクリックして、ディレクトリを変更してください。

次へ をクリックします。

7 インストールが始まります。

インストールを中止する場合は、キャンセル をクリックします。

8

セットアップが終了します。

閉じる をクリックします。

これでFineCut（Windows版）のインストールは終了です。

インストール手順（Macintosh をご使用の場合）

1 パソコンの電源を ON にし、Macintosh を起動します。

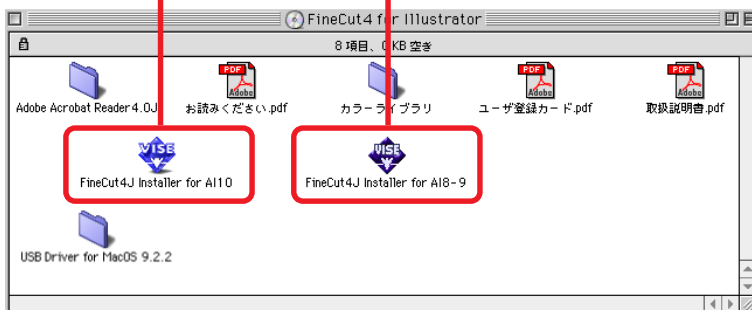
2 FineCut の CD-ROM をディスクドライブにセットします。

3 FineCut のアイコンをダブルクリックします。

4 FineCut のフォルダが開きます。

インストーラアイコンをクリックします。

Illustrator10.0Jをご使用の場合は、このアイコンをダブルクリックします。

Illustrator8.0J または 9.0J をご使用の場合は、このアイコンをダブルクリックします。

5 セットアップ画面が立ち上がります。

続ける をクリックします。

6 「ソフトウェア使用許諾契約書」を表示します。

ライセンス

ソフトウェア使用許諾契約書

本ソフトウェアをインストール前に、ソフトウェア使用許諾契約書を必ずお読みください。お客様は、本ソフトウェアをインストールすることにより、本契約に拘束されることに同意したことになります。もしお客様が本契約に同意しない場合は、インストールせずに、速やかに本製品及びその複製物をコンピュータの一時メモリ或いはハードディスクより消去してください。

第1条.定義
1.「ソフトウェア」とは、本契約書とともに提供されるコンピュータプログラムをいいます。
2.「複製物」とは第2条に従い作成されるソフトウェアの実行用プログラムをいいます。
3.「関連資料」とは、本契約書とともに提供されるマニュアルその他の印刷された資料、または弊社が後に提供することがある印刷された資料をいいます。
4.「本製品」とは、弊社がお客様に提供したソフトウェアおよび関連資料ならびにソフトウェアの複製物をいいます。

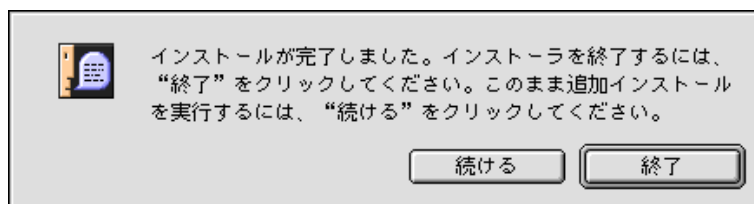
第2条.使用条件
1.ソフトウェアを1台のコンピュータでのみ使用することができます。
2.本契約に従いソフトウェア全体を1部に限り、実行用プログラムとしてハードディスク等に複製することができます。この場合その複製物のみを使用することができます。

よくお読みの上、契約に同意する場合は、同意 をクリックします。

7 インストール方法、インストール先を選択します。

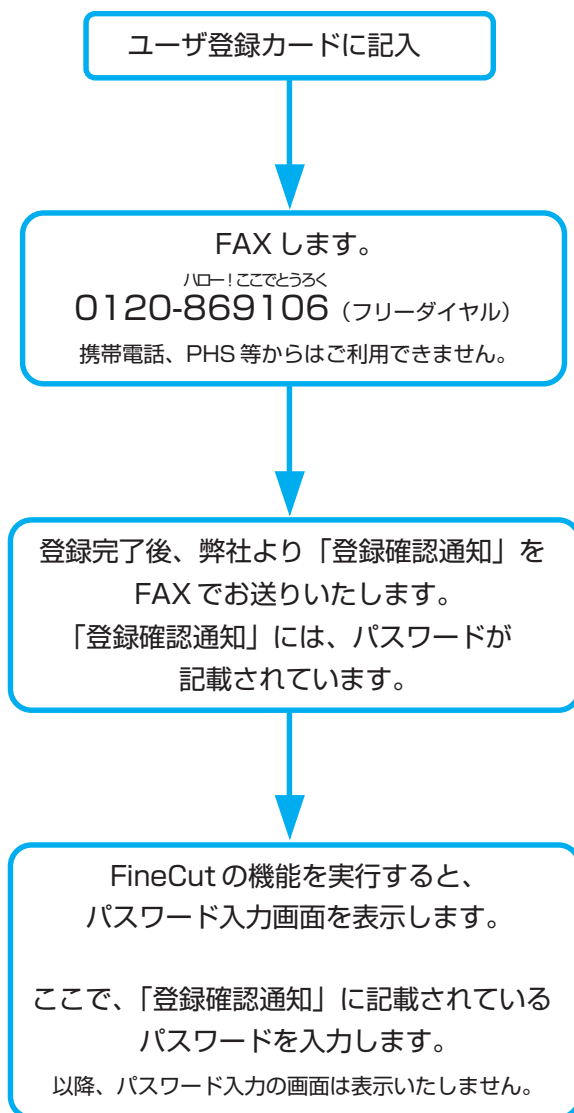
通常は「標準インストール」を選択し、Illustratorをインストールしているディスクを選択します。
インストール先を変更する場合は、[ディスクの切り替え]をクリックし、ディスクを選択します。

[インストール]をクリックすると、インストールを開始します。

8 インストールが終了します。

[終了]をクリックします。
インストールを続行する場合は、[続ける]をクリックします。

これでFineCut（Macintosh版）のインストールは終了です。

ユーザ登録とパスワードの取得について

同封のユーザ登録カードに必要事項をご記入のうえ、FAX でお送りください。
ユーザ登録が完了後､弊社ユーザー登録係よりパスワードを記載した登録確認通知を FAX にて発行いたします。
ユーザ登録していただきますと､無償バージョンアップ､サポートやミマキ新製品のお知らせ等のサービスが受けられます。必ず､ユーザ登録をしていただきますようお願い申し上げます。

FineCut には、パスワードの他にシリアル番号を入力するダイアログがあります。
（⇒ 12 ページ）

Macintosh用USBシリアル変換アダプタについて

MacintoshのUSBポートからプロッタのシリアルポートへ出力する場合は、USB-シリアル変換アダプタが必要です。
弊社では、オプション品の「USB-シリアル変換アダプタ（型番：OPT-SS036）」を推奨しております。

USB-シリアル変換アダプタは、コンピュータのOS（オペレーティングシステム）との問題により、正常に動作しないものがあります。他社製品をお使いになる場合は、OSとの問題が無いか変換アダプタのメーカーにお問い合わせください。

この取扱説明書について

本書は、FineCut の機能について説明しています。

本文中の表記について

メニューに表示する項目は、[ファイル]メニューのように[ ]でくくっています。
ダイアログに表示するボタンは、プロット のように　　　でくくっています。
「FC フレームレイヤー」等、表示の「FC」は FineCut の略です。

マークについて

FineCutをお使いになる際に、注意していただく事を説明しています。

必ず、実行していただく事について説明しています。

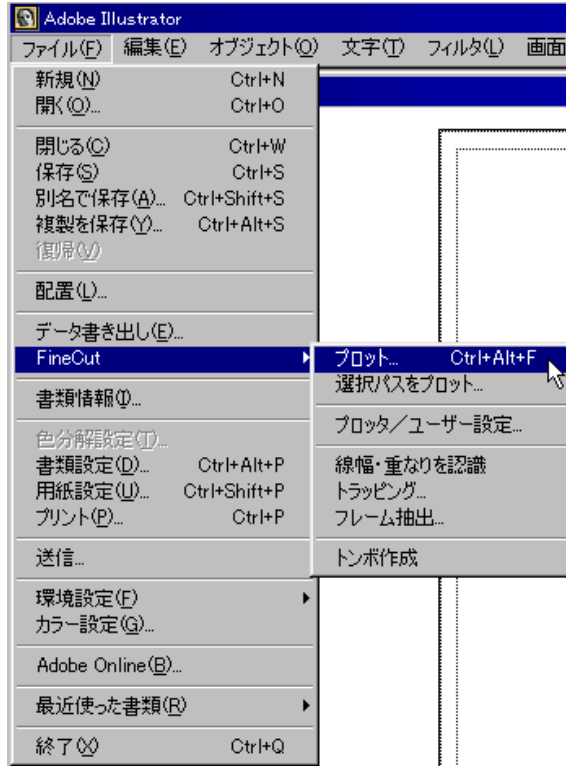
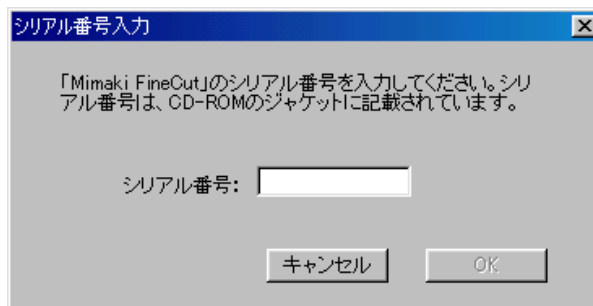
知っていると便利な方法を記載しています。

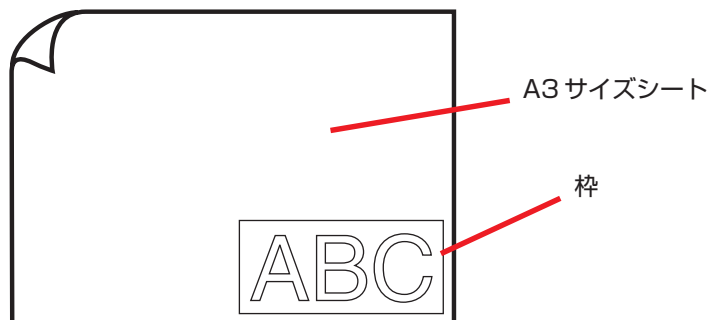
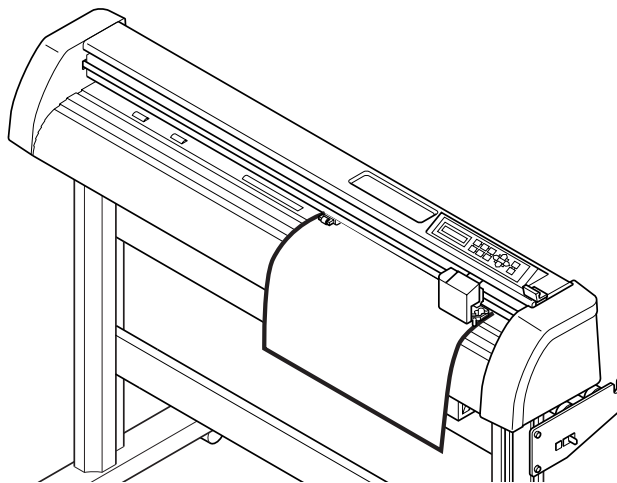
⇒　関連した内容の参照ページを示しています。

FineCut ダイアログについて

以下のダイアログは FineCut のダイアログです。
本文中では、「FineCut メニュー」と表記します。(⇒56 ページ)

シリアル番号の入力

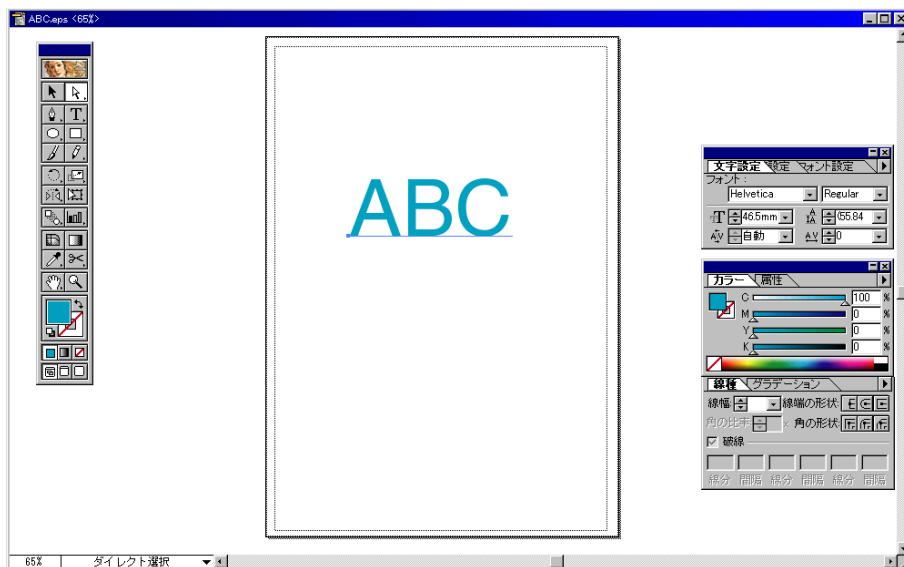
FineCut をインストール後、最初に[プロッタ / ユーザ設定 ...]または[プロット ...]を実行すると、シリアル番号を入力するダイアログを表示します。

CD-ROMが入っているジャケットに記載されているシリアル番号を入力し、OK をクリックします。

クイックスタート

Mimaki CGシリーズを使用して、A3サイズのシートの右下に「ABC」をカットしてみましょう。
また、「ABC」の周り5 mmの位置に、枠もカットしてみましょう。

1 プロッタにA3サイズのシートを横にセットします。

2 プロッタをREMOTEモードにします。

> ! 必ずREMOTEモードにしてください。LOCALモードのままだと、FineCutが、プロッタにセットしたシートの長さを読み込むことができません。

3 Illustratorを起動します。

用紙のサイズをA3サイズに設定する必要はありません。

4 「ABC」と入力します。

5 Illustratorの[ウィンドウ]メニューから「FineCutメニューを表示」を選択します。

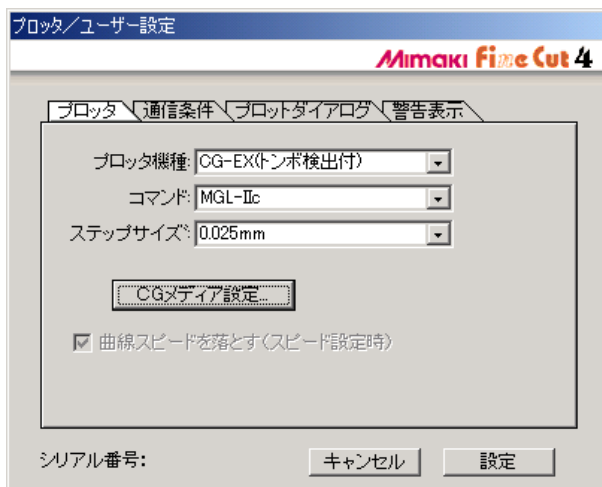
「FineCutメニュー」を表示します。

6 「FineCut メニュー」の[プロッタ / ユーザ設定 ...]ボタンをクリックします。

または Illustrator の［ファイル］メニューの［Fine Cut］から、［プロッタ / ユーザ設定 ...］を選択します。

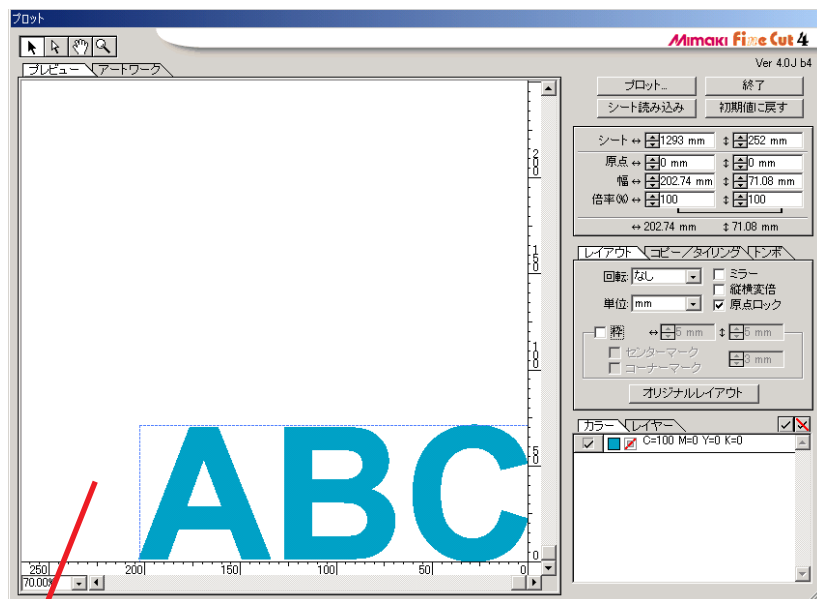
7 プロッタの設定を行います。

「プロッタ」、「通信条件」は、必ずプロッタと同じ設定値にしてください。
（⇒ 59, 60 ページ）

入力する値が、プロッタ側で設定してある値と異なると、正常にオブジェクトの出力が行えません。

設定 をクリックします。

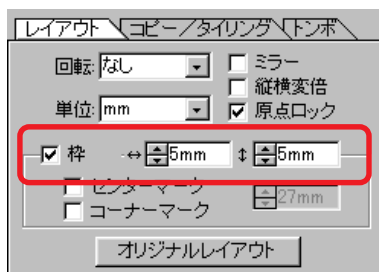
8

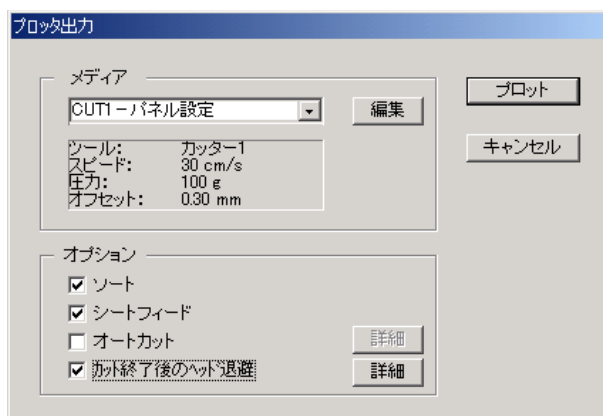
「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの［ファイル］メニューの［Fine Cut］から、［プロット］を選択します。

有効カットエリア
(Mimaki CF シリーズでは、原点が左下のため、「ABC」は左下に表示します。)

シート読み込み ボタンの左横に ⚠ マークを表示する場合は、プロッタのシート寸法を読み込めません。プロッタをREMOTE状態にした後、シート読み込み ボタンをクリックして、シート寸法を読み込んでください。

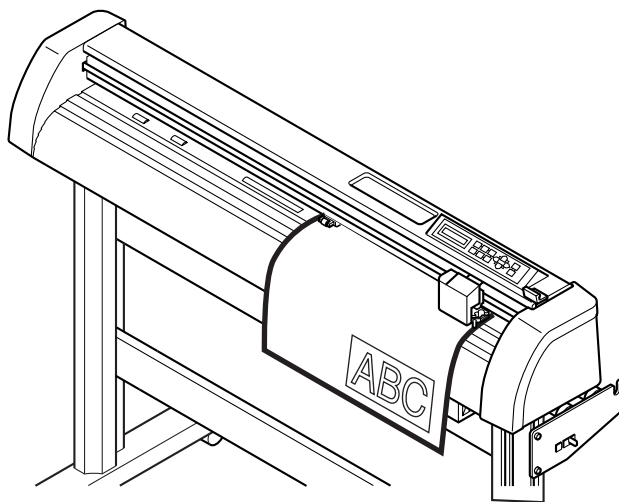
9　枠を設定します。

オブジェクトの周りから5 mm離れた位置に、枠をカットするように設定しましょう。枠のチェックボックス□をクリックし、チェックを付けます。
横5 mm 縦5 mmと入力します。

10　プロット ボタンをクリックします。

プロッタ出力ダイアログを表示します。

使用するメディアを選択し、プロットに関する設定を行います。(⇒70ページ)
プロッタで設定したカット条件を使用する場合は、「指定なし」を選択してください。

必ず、プロッタにセットしてあるメディアにマッチした条件を設定してください。
条件が異なる場合、正常なカット結果が得られないことがあります。

11 プロット ボタンをクリックします。

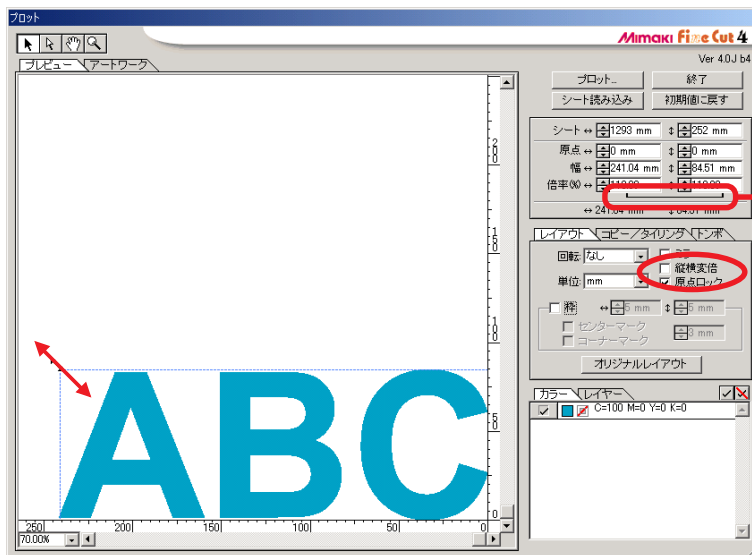
オブジェクトのカットを開始します。
シートの右下が原点のため、シートの右下（Mimaki CF シリーズでは左下）にカットします。

12 終了 をクリックします。

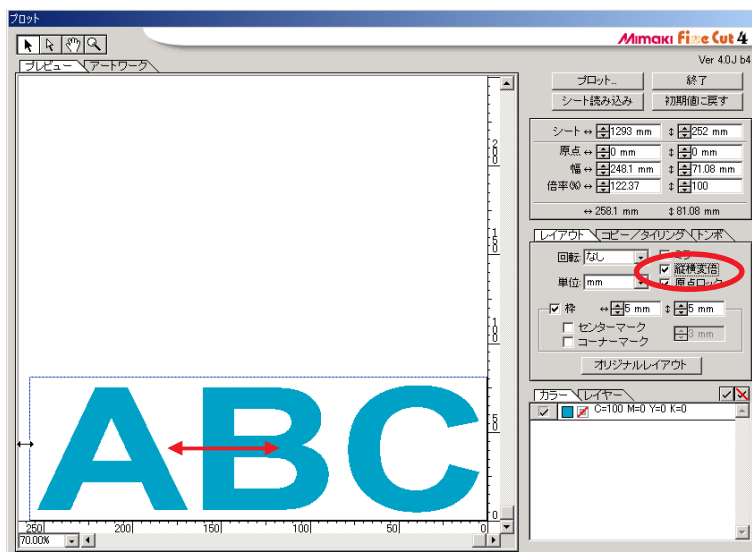
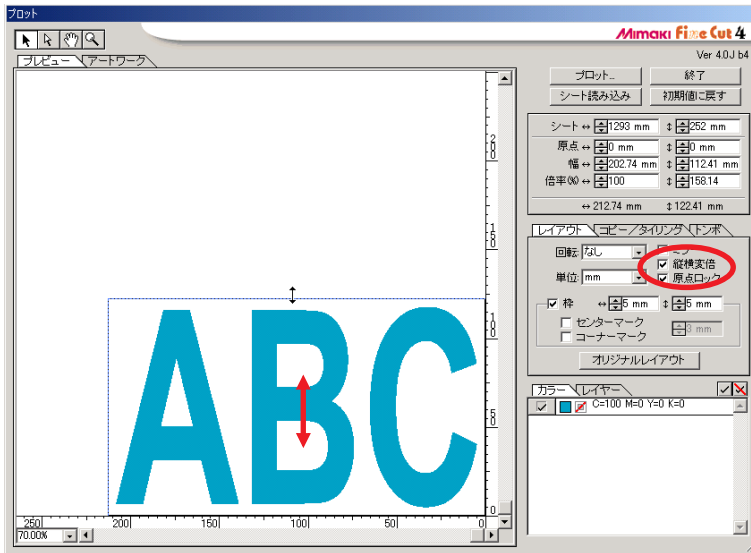
プロットダイアログボックスが閉じます。

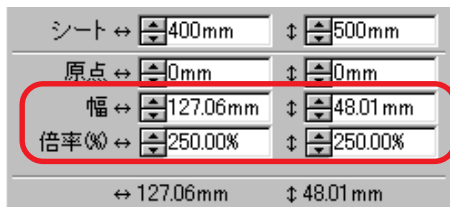
オブジェクトの拡縮

オブジェクトの拡縮は、オブジェクトの端にマウスポインタを合わせてドラッグします。

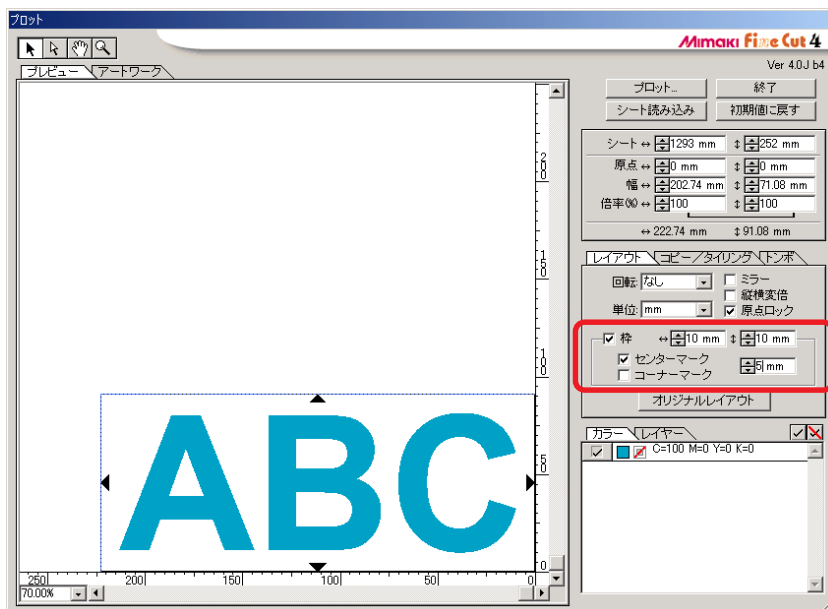
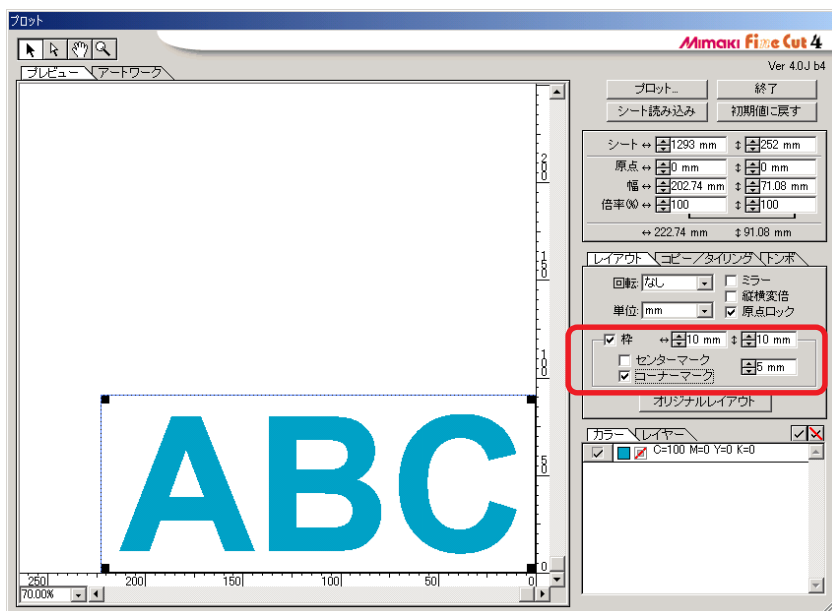
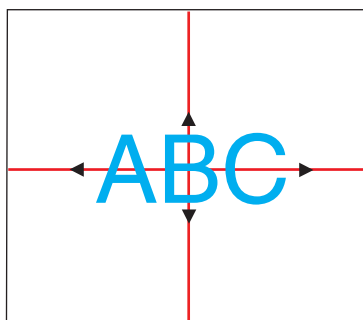
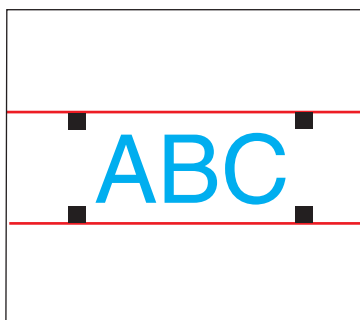
1. 横幅と縦幅の比率を変えないでの拡縮

オプションメニューの「縦横変倍」のチェックボックスのチェックを外します。
オブジェクトの端をマウスでドラッグして拡縮します。

2. 横幅または縦幅のみの拡縮

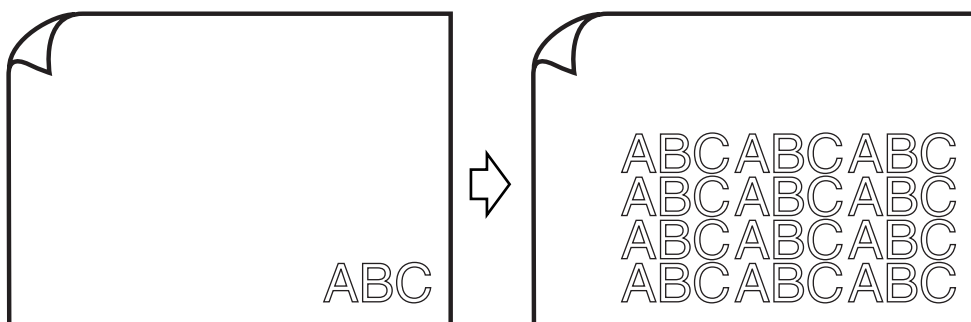
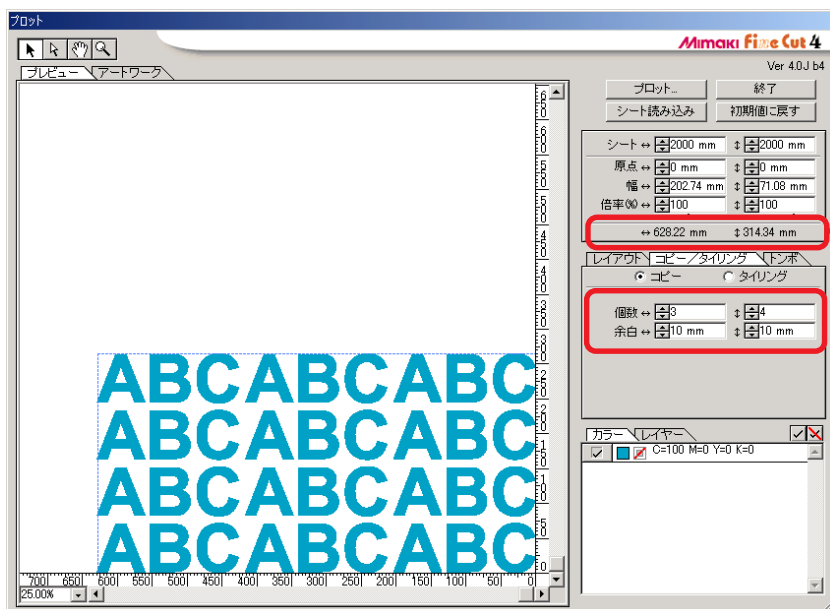
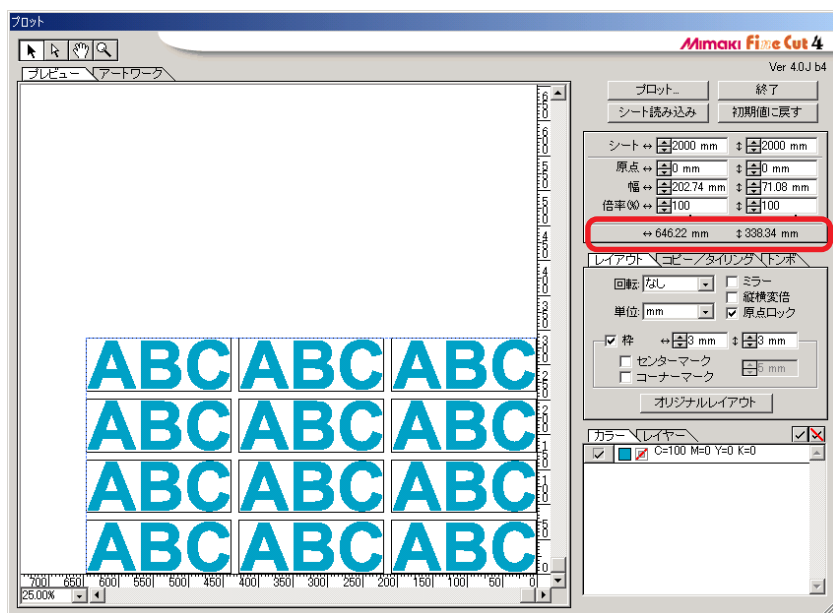
オプションメニューの「縦横変倍」のチェックボックスにチェックを付けます。
オブジェクトの左右どちらかの端、またはオブジェクトの上下どちらかの端をマウスでドラッグして拡縮します。

- キーボードのshiftキーを押しながらドラッグすると、横幅と縦幅の比率を保ちながら拡縮できます。
- 横幅と縦幅のサイズを別々に変更した後に縦横変倍を無効にすると、変更したサイズの横幅と縦幅の比率を保持したまま拡縮ができます。

なお、正確な拡縮を行う場合は、オブジェクトメニューの幅や倍率に値を入力します。

センターマーク、コーナーマークをつける

オブジェクトの枠にマークをつけておくと、カットしたシールを貼る際に、簡単に位置合わせができます。

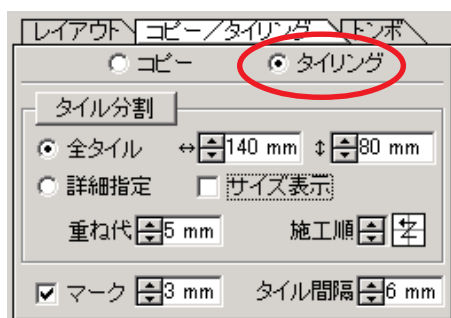
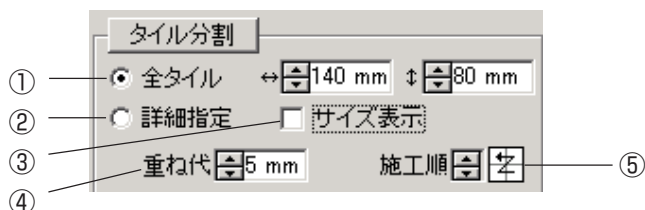
センターマークをつけてみましょう。
オプションメニューの「センターマーク」のチェックボックスにチェックを付け、マークのサイズを入力します。

コーナーマークをつけてみましょう。
オプションメニューの「コーナーマーク」のチェックボックスにチェックを付け、マークのサイズを入力します。

カットしたシールは、下図のように罫線にマークを合わせて貼ることができます。

1. シールを貼る中心の位置を決め、罫線を引きます。
2. センターマークを罫線に合わせます。
(希望の位置にシールを貼れます。)

1. 目安にする罫線を引きます。
2. コーナーマークを罫線に合わせます。
(水平にシールを貼れます。)

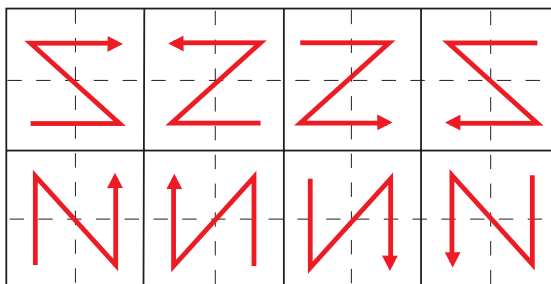
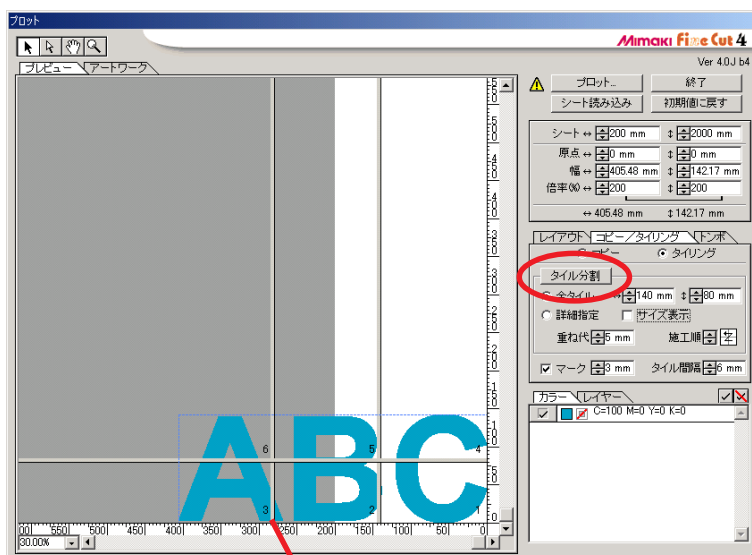
1 つのオブジェクトを複数カットする（コピー）

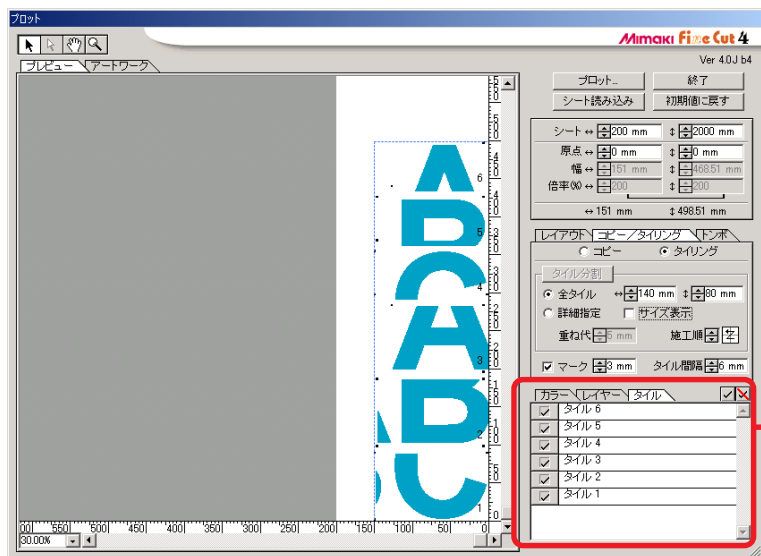
1つのオブジェクトを縦方向、および横方向に複数カットする場合は、コピー機能を使用します。
A3 サイズのシートに、「ABC」を下記のようにカットしてみましょう。

「コピー」の横方向に「3」、縦方向に「4」を入力します。
オブジェクト間の余白（横方向、縦方向）を 10 mm に設定します。

オブジェクトから３mm 離れた周辺に枠を付けます。

枠を設定すると、各オブジェクトごとに枠を作成します。コピーしたオブジェクトを１つの枠で囲むことはできません。

1 つのオブジェクトを分割してカットする（タイリング）

1 つのオブジェクトを分割してカットする場合は、タイリング機能を使用します。
この機能を使うと、シート幅より大きい看板を作成できます。
ここでは分割した各オブジェクトを、「タイル」と呼びます。
オブジェクトを分割してみましょう。

1 「コピー / タイリング」タブの「タイリング」ラジオボタンを選択します。

2 分割方法を設定します。（⇒ 66 ページ）

①全タイル：	タイルサイズを入力します。全て同じサイズでタイルを分割します。
②詳細指定：	カットエリアの分割線をドラッグして、自在に分割します。
③サイズ表示：	分割したタイルの各サイズを表示します。
④重ね代：	タイルの重ね代を設定します。

⑤施工順：　　カット順序を設定します。
カットしたタイルを、看板などに張り合わせる順番です。
この順番によって、タイル番号、重ね代の作成方向が決定
します。次の 8 種類から選択できます。

3　タイル分割 ボタンをクリックします。

各オブジェクトの右下にカットする順番を表示します。

4 オブジェクトを分割して表示します。

タイリングオプションの「マーク」と「タイル間隔」を設定します。

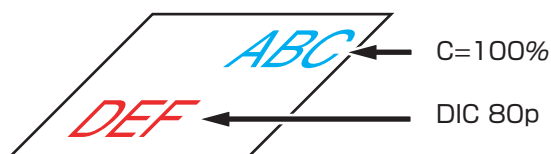
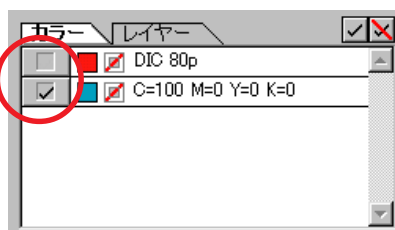
マーク： 各タイルにマークをつけます。
マークを合わせると、分割前のオブジェクトの形を復元できます。

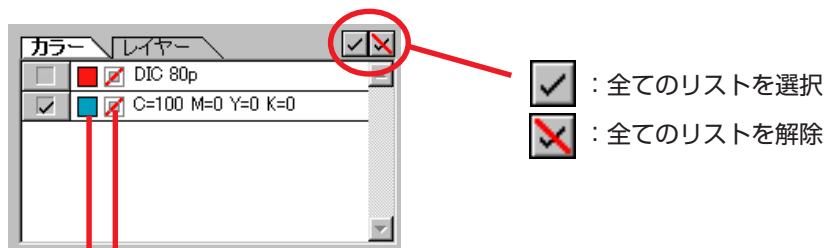
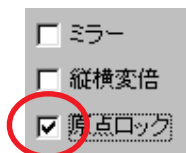
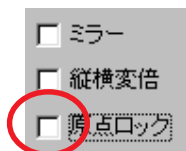
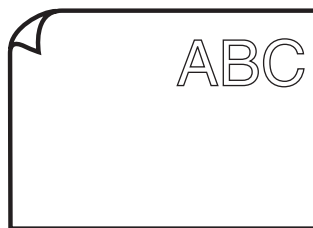
タイル間隔： 連続してカットする際の各タイルをカットする間隔を入力します。

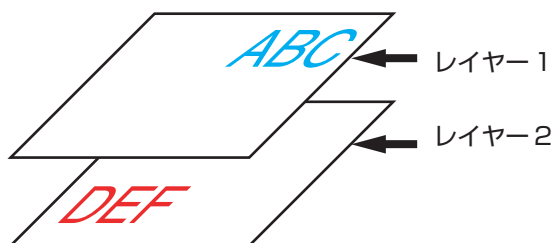
5 タイルリストからカットするタイルを選択し、プロットします。

リストタブを「タイル」から「カラー」または「レイヤー」に変更すると、タイル分割をやり直すことができます。

色別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数の色のオブジェクトがある場合、指定した色のオブジェクトのみをカットできます。
青い色（C=100%）の「ABC」のみをカットしてみましょう。

プロットダイアログのカラーリストは、オブジェクトの色構成を表示します。
「DEF」のカラー(DIC 80p)のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
カットエリアから「DEF」のオブジェクトが消えます。

カラーリストについて

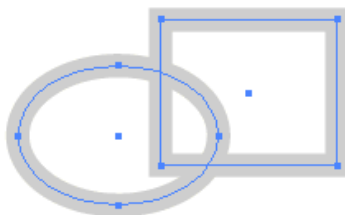
カラーリストには、オブジェクトに使用している全ての色(DIC 等の特色を含む)を表示します。また、オブジェクトの塗りと線の色を表示します。

作成した「ABC」のレイアウト位置を保持してカットする場合は、レイヤーオプションの「原点ロック」のチェックボックスをチェックします。
チェックを付けない場合は、原点を基準にシートの右下に（Mimaki CF シリーズは左下に）カットします。

レイヤー別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数のレイヤーにオブジェクトがある場合、指定したレイヤーのオブジェクトのみをカットできます。
レイヤー 1 の「ABC」のみをカットしてみましょう。

プロットダイアログをレイヤーリストに変更します。
レイヤー 2 のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

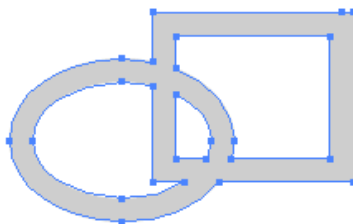
カットエリアからレイヤー 2 の「DEF」が消えます。
作成した「ABC」の位置を保持してカットする場合は、オプションの「原点ロック」のチェックボックスにチェックをつけます。(⇒ 29 ページ)

線幅・重なりを認識させる

オブジェクトの線幅や重なりを認識させて、モニター上で見たままの図形にカットしてみましょう。

1　認識するオブジェクトを選択します。

2　「FineCutメニュー」の[線幅・重なりを認識]ボタンをクリックします。

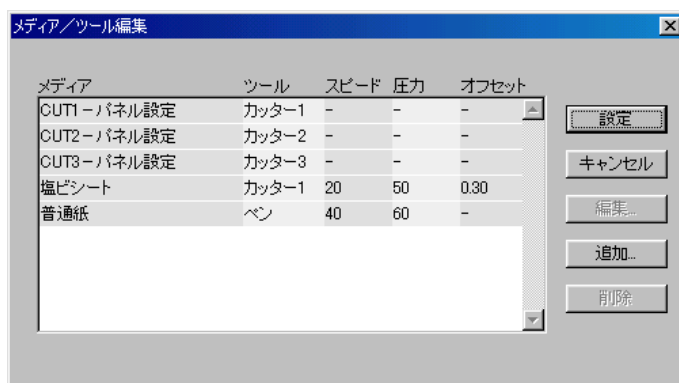
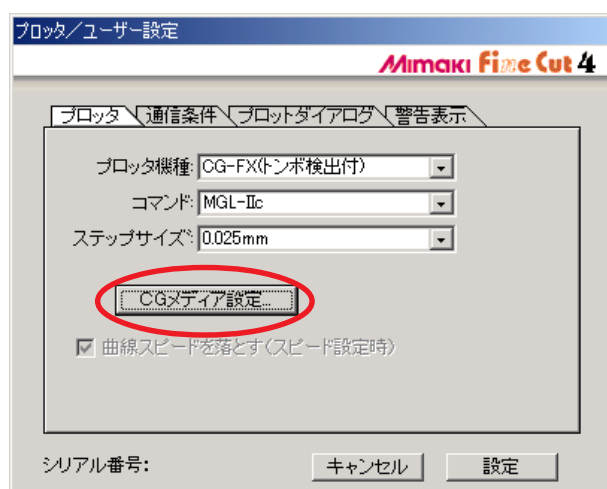
またはIllustratorの〔ファイル〕メニューの〔Fine Cut〕から、〔線幅・重なりを認識〕を選択します。

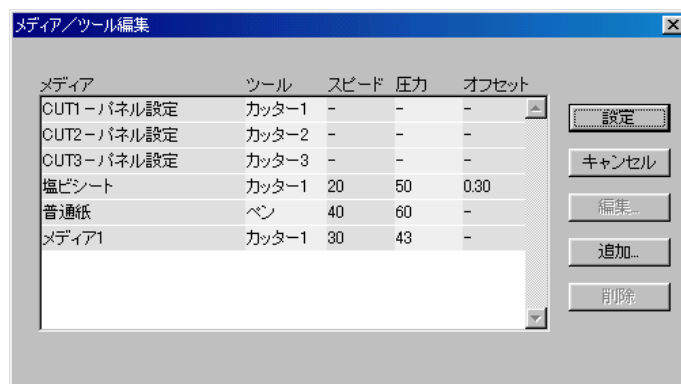
3　線幅と重なりが認識されます。

メディア別カット条件の設定

コマンドが「MGL-IIc」の場合のみ、本機能を使用できます。

FineCutでは、プロッタのカット条件を50通りまで登録できます。プロット時にカット条件をメディアによって切り替えることができます。

1 [プロッタ/ユーザ設定...] で、 ＊＊メディア設定 ボタン（⇒59ページ）をクリックします。

またはプロットダイアログで 編集 ボタン（⇒70ページ）をクリックします。
メディアの編集画面を表示します。

2 使用するメディアの設定を行います。

メディアを追加する場合は、追加 ボタンをクリックして、メディア/ツール作成ダイアログを表示します。プロッタにセットするパラメータをチェックして、設定情報を入力します。チェックしないパラメータは、プロッタ側の設定でプロットします。

OK をクリックすると、メディア/ツール編集ダイアログのリストにメディアを追加します。

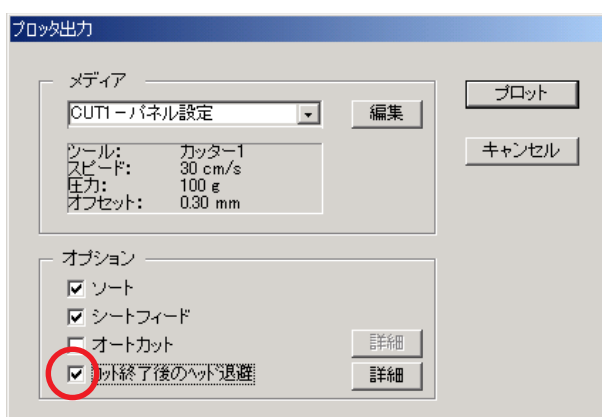
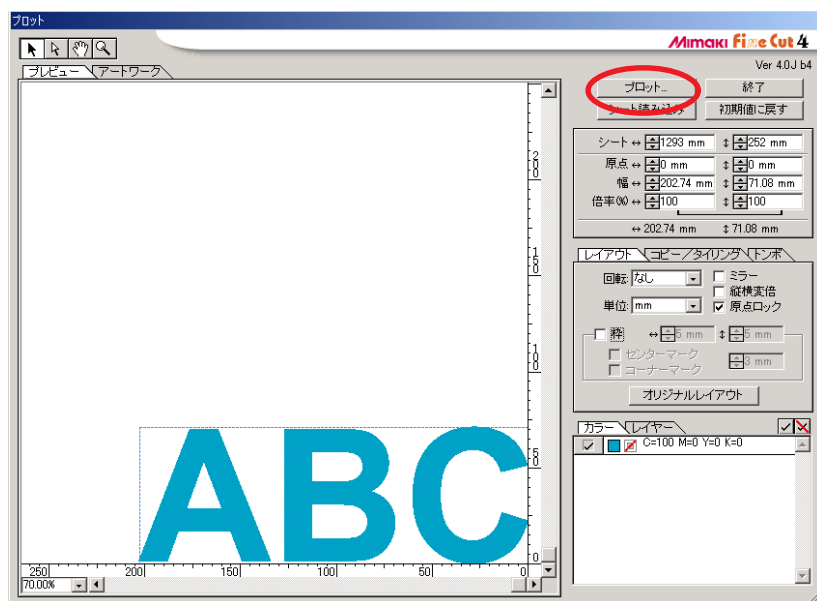
メディア	ツール	スピード	圧力	オフセット
CUT1－パネル設定	カッター1	-	-	-
CUT2－パネル設定	カッター2	-	-	-
CUT3－パネル設定	カッター3	-	-	-
塩ビシート	カッター1	20	50	0.30
普通紙	ペン	40	60	-
メディア1	カッター1	30	43	-

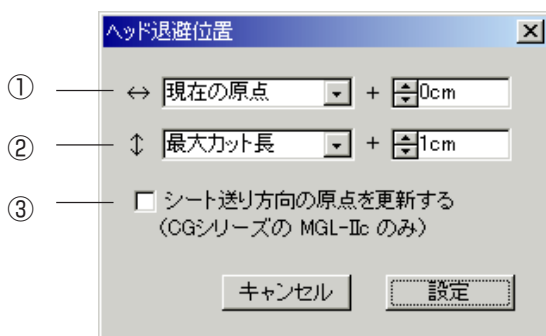
3 設定 ボタンをクリックします。

設定した値が、ご使用のプロッタの設定可能な制限値を超えている場合、プロッタの制限値でプロットします。設定可能な制限値については、ご使用のプロッタの取扱説明書を参照してください。

カット終了後、ヘッドの位置や原点を自動的に設定する

データを出力した後のプロッタのヘッド位置を設定することができます。

プロットダイアログの プロット ボタンをクリックすると、プロッタ出力ダイアログを表示します。

「カット終了後のヘッド退避」チェックボックスにチェックをつけておくと、データの出力後にヘッドが設定した位置に退避します。

ヘッド退避位置の変更や退避位置に原点を設定する時は、［詳細］ボタンをクリックして「ヘッド退避位置」ダイアログを表示します。
（デフォルトは、データの最大カット長＋1cm、原点更新無しに設定してあります。）

① **幅方向のヘッド退避位置を設定します。**
基準の位置を「現在の原点」、「最大カット幅」の2つから選択できます。
例えば、上図は「現在の原点」から幅方向に0 cmの位置にヘッドを退避するという設定です。

② **長さ方向のヘッド退避位置を設定します。**
基準の位置を「現在の原点」、「最大カット長」の2つから選択できます。
例えば、上図は「最大カット長」から長さ方向に＋1 cmの位置にヘッドを退避するという設定です。

③ **ヘッド退避位置を原点に設定します。（Mimaki CG シリーズのコマンドがMGL-IIcの場合のみ使用可能）**
ここにチェックをしておくと、連続出力などをする時に便利です。

「シート送り方向の原点を更新する」にチェックをしている時は、プロッタ側で実行する「マイスウギリ」や「ブンカツカット」が正常に行われません。「マイスウギリ」「ブンカツカット」使用時はチェックを外してください。

シールをつくる

プリンタなどでプリントした図柄の輪郭をカッティングして、シール/ステッカーを作ってみましょう。
FineCutには、オブジェクトにカットラインを生成する「フレーム抽出」機能や、マークセンサー付きカッティングプロッタ「Mimaki CG-EX シリーズ」、「Mimaki CG-FX シリーズ」で軸補正、距離補正が一度に行える「トンボ認識」機能を搭載しています。

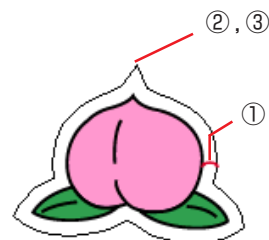
必ずプロッタの設定を、接続しているプロッタと同じ値に設定してください。
設定が異なると、正常にオブジェクトをカットできません。(⇒60ページ)

1. フレームをつける

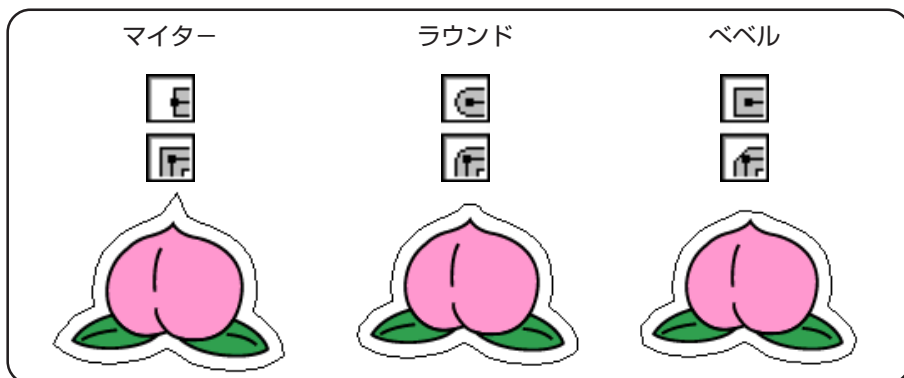
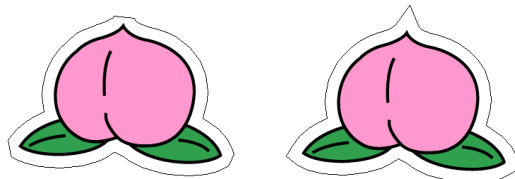
この機能を使用して、指定したオフセットでカットラインを自動作成します。

1 フレームをつけるオブジェクトを選択します。

2 「FineCut メニュー」の[フレーム抽出]ボタンをクリックします。
またはIllustratorの[ファイル]メニューの[Fine Cut]から、[フレーム抽出...]を選択します。

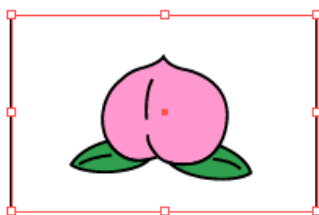
3 フレームのパスの設定を行います。

①**オフセット**：　オブジェクトからフレームまでの距離を設定します。オフセット値にマイナスの値を入力すると、裁ち落としができます。

②**角の形状**：　フレームの角の形状を設定します。

フレームの形状が不自然になる場合は、角の形状を変更すると改善することがあります。一般的に角が鋭角な程、またオフセットの値が大きい程、精度が落ちます。

③**角の比率**：　角を形成する 2 本の線端が交わる位置までの比率を設定します。(角の形状がマイターの時のみ有効)

値が大きい程、鋭角になります。

OK をクリックすると、フレームを抽出し、「FC フレームレイヤー」にパスが作成されます。

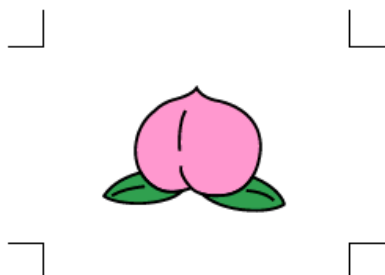
2. トンボを作成する

1 トンボを作成したい位置にあわせて、長方形ツールでオブジェクトを囲みます。

2 「FineCut メニュー」の[トンボ作成]ボタンをクリックします。

または Illustrator の〔ファイル〕メニューの〔Fine Cut〕から、〔トンボ作成〕を選択します。

3 トンボの形状とサイズ、線幅を設定します。

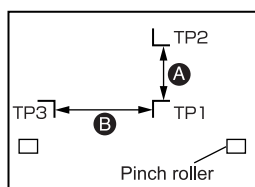
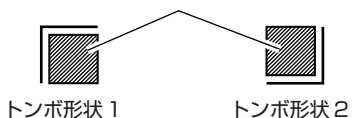
連続してトンボをカットする場合（⇒41 ページ）は、トンボサイズを8mm以上に設定してください。

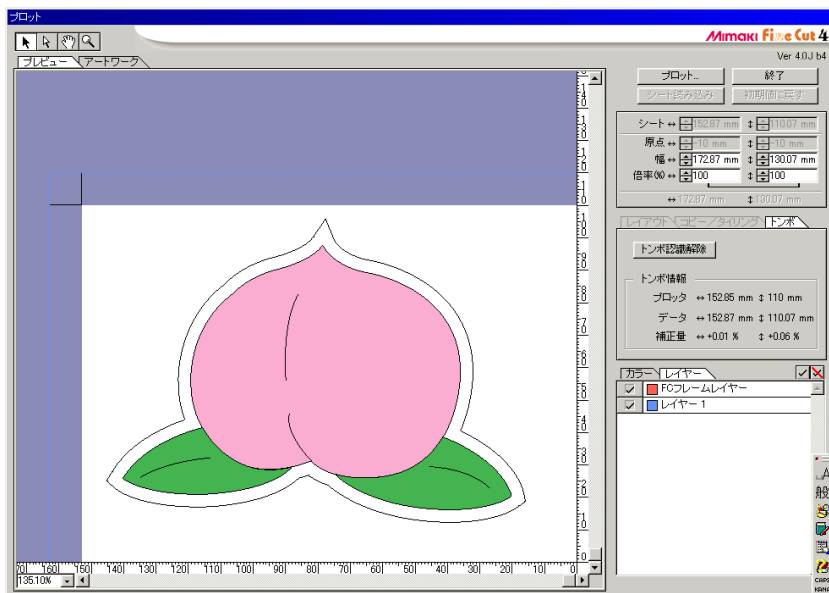
4 トンボが作成されます。このデータをプリンタで出力します。

3-1. トンボを認識し、カットする(CG-EX シリーズをご使用の場合)

1

出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-EXシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。

トンボ検出方法(セミオート方法)

1. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
2. [<] キーまたは [>] キーを押し、シート検出を行います。
3. ジョグキーでカッターの先端を左図のエリア内に移動します。
4. [ENTER HOLD] キーを押します。
   トンボ検出が始まります。
5. トンボ検出後、TP1-TP3間の長さ(A)を表示します。[ENTER HOLD] キーを押します。
   Fine Cut は自動でサイズを補正するので、ジョグキーで実サイズを登録する必要はありません。
6. TP1-TP2 間の長さ(B)を表示します。
   [ENTER HOLD] キーを押します。
7. 原点が設定されます。

2 プロットダイアログで トンボ認識 ボタンをクリックすると、トンボを認識します。

トンボ認識を中止する時は、 トンボ認識解除 ボタンをクリックします。

3 プロットします。

フレームのみをカットする場合は、レイヤーリストの「FCフレームレイヤー」のみにチェックをして、プロット ボタンをクリックします。

3-2. トンボを認識し、カットする(CG-FX シリーズをご使用の場合)

FineCutを使用すると、CG-FXにセットしてある出力結果のトンボを、高速で検出できます。
ロールシートに複数ある同一データを連続カットする方法と、ハザイシートを交換して同一データを連続カットする方法を行ってみましょう。

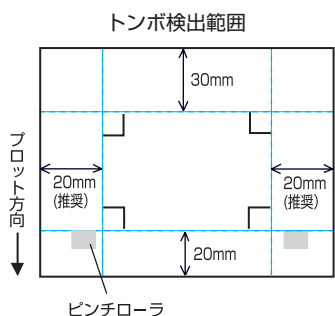
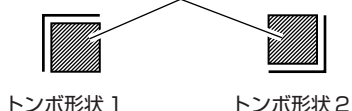
＜ロールシートの連続カット＞

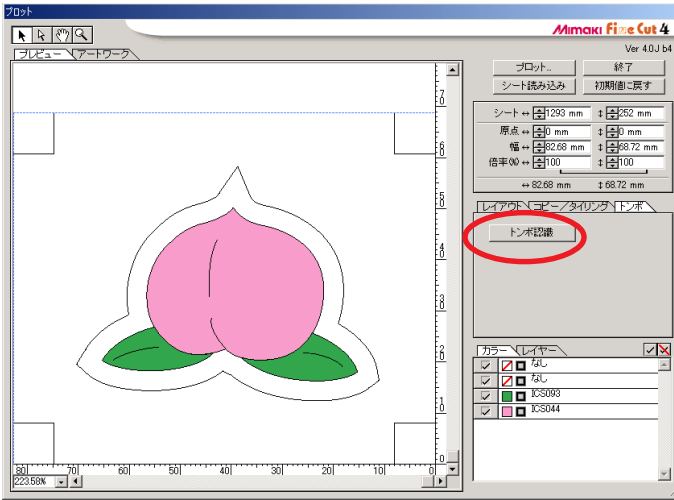
- Illustrator 上のトンボデータは、１セット（４カ所）のみにしてください。
  同一データの印刷は、Illustratorに同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア(RIP)のコピー機能を使用してください。
- トンボの形状は統一してください。(⇒38ページ）トンボの形状が混合していると、正確にトンボを検出できません。
- トンボの長さは 8mm 以上に作成してください。(⇒ 38 ページ)
- トンボの横方向の配列は、５セット以内にしてください。
- 出力結果は、XY 方向（縦横）をそろえて作成してください。

1

出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

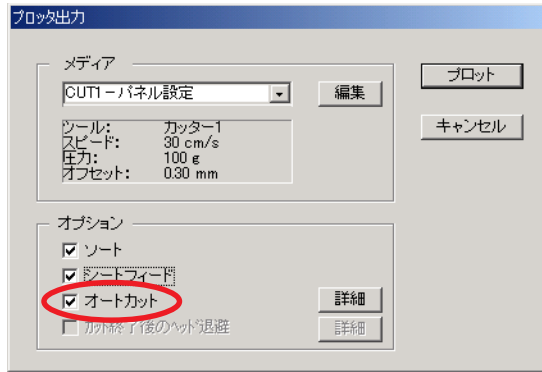
トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-FXシリーズ」の取扱説明書をご参照ください。

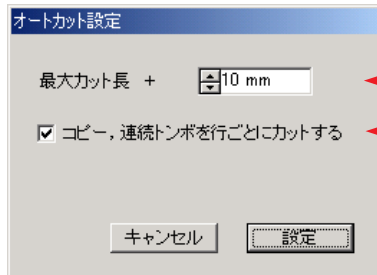
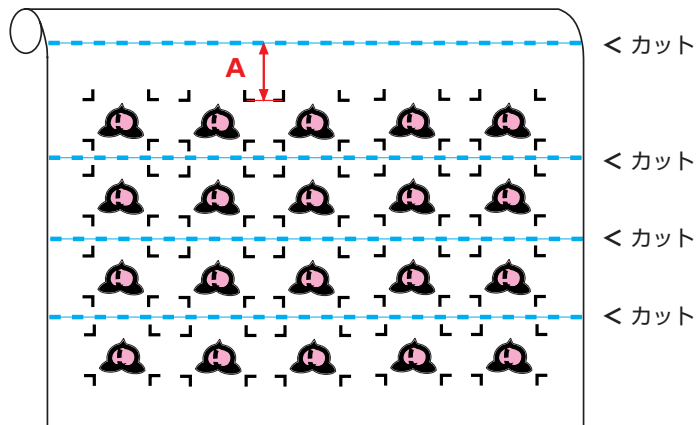
トンボ検出方法（セミオート方法）

1. プロッタで、「トンボケンシュツ」機能を有効にします。
   サイズ、形状など検出するトンボの設定を行います。
   「トンボ検出個数」は「1テン」を選択します。
2. プリンタで出力したシートをプロッタに取り付け、シートセットレバーを奥側に倒します。
3. ジョグキーを押し、シート検出を行います。
4. ジョグキーでスポット LED を左図のエリア内に移動します。
5. [ENTER HOLD] キーを押します。
6. トンボを検出し、ローカルモードになります。

2　プロットダイアログの トンボ認識 ボタンをクリックします。

3　連続して認識するトンボについて設定します。

トンボ認識を中止する時は、 トンボ認識解除 ボタンをクリックします。

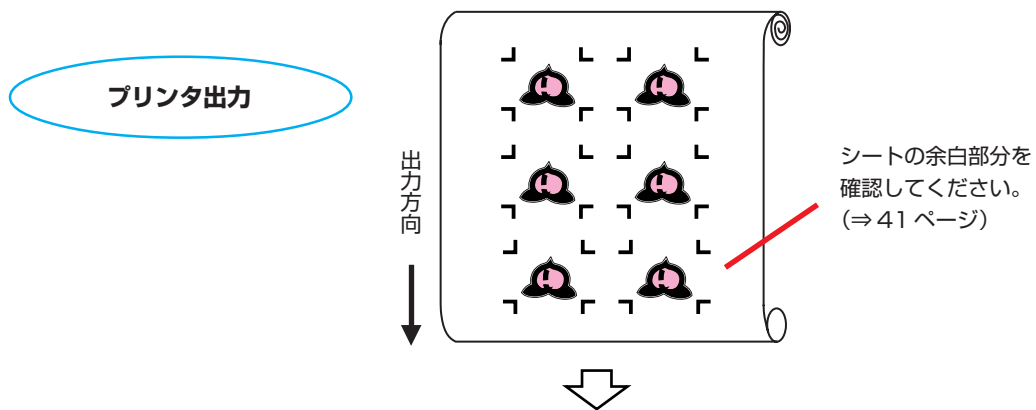
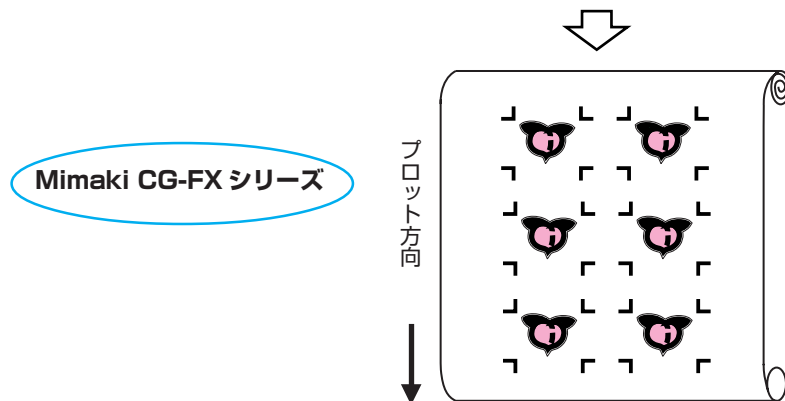
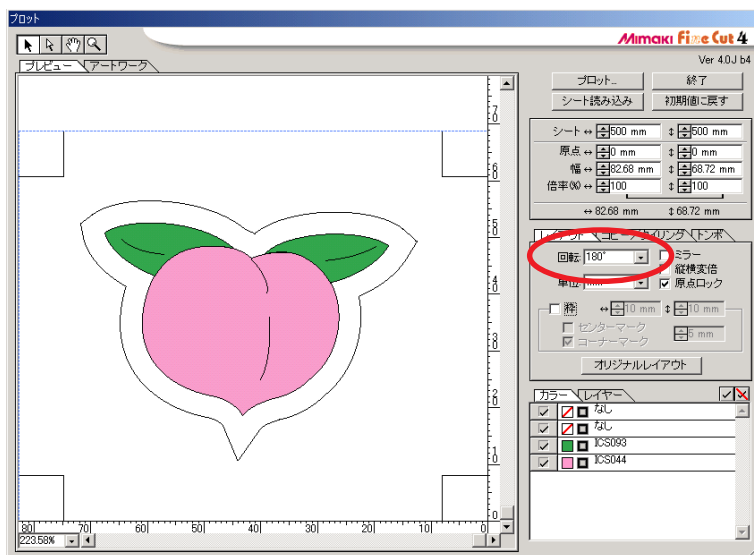
4　**プロットダイアログの ［プロット］ ボタンをクリックします。**

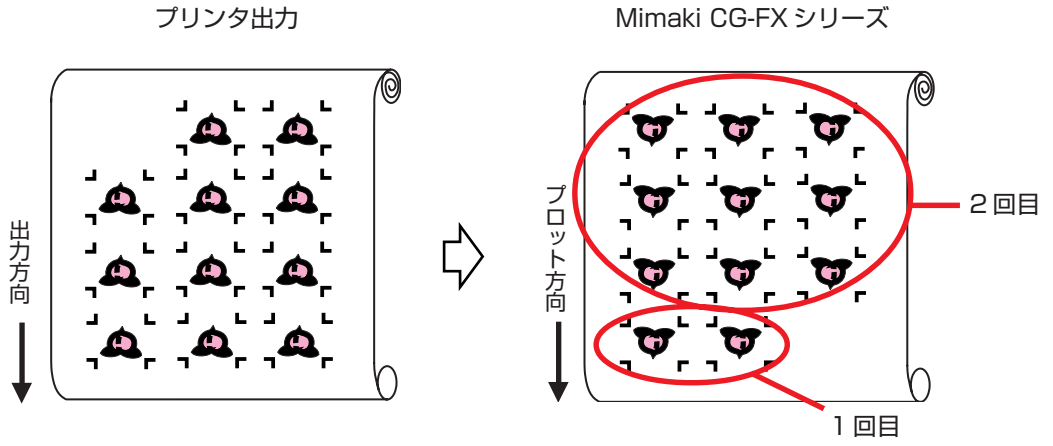
プロッタ出力ダイアログを表示します。（⇒ 70 ページ）

「オートカット」にチェックを入れると、カッティングを終了ごとに自動的にシートカットします。

［詳細］ をクリックし、設定を行います。

［設定］ をクリックします。

5　**プロッタ出力ダイアログの ［プロット］ をクリックし、プロットを開始します。**

● 巻き取り機能付きプリンタ（Mimaki JV シリーズなど）でプリントしたものを、紙管に巻いてある場合

FineCut で 180° 回転すると、そのまま CG-FX にセットして連続カットできます。
（ロールを巻き戻す必要はありません。）

FineCutでトンボ認識を行う前に、「回転」を「180° 」に設定します。

●プリントされている連続データが、行の途中までの場合

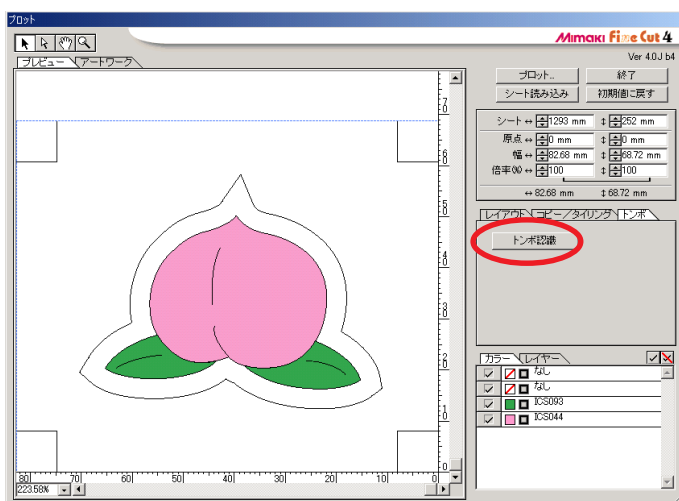
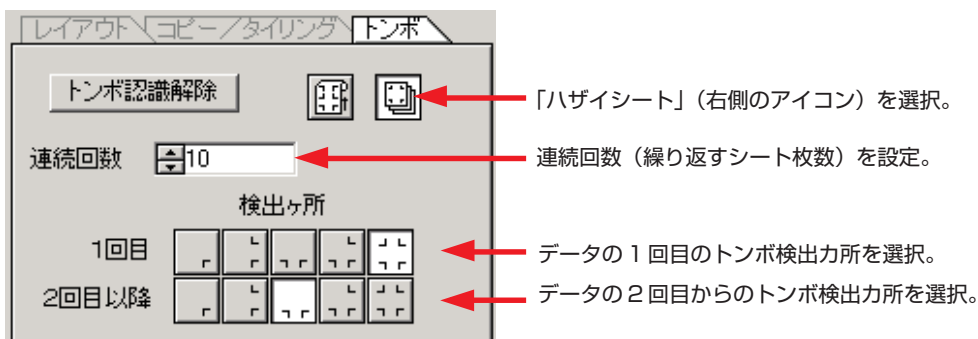
データを２回に分けてカットすると、全てのデータがカットできます。

<ハザイシートの連続カット>

・トンボデータは、1セット（4カ所）のみとしてください。シート内にトンボが数セットある場合は、連続してカットができません。
・出力結果のハザイシートサイズ、印刷位置は同じにしてください。

1　出力結果をプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

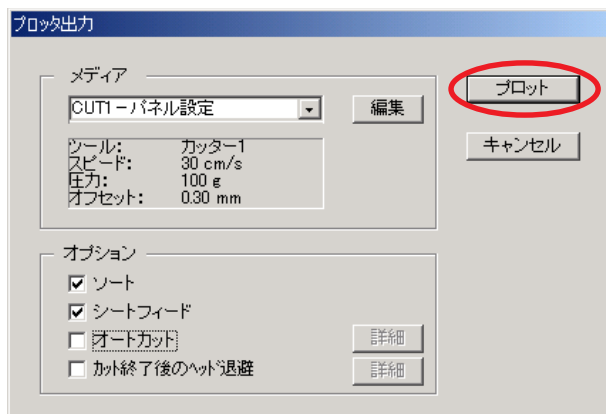
(⇒41ページ)

トンボ検出方法の詳細は、「Mimaki CG-FXシリーズ」の取扱説明書をご参照下さい。

2　プロットダイアログの トンボ認識 ボタンをクリックします。

3　連続して認識するトンボについて設定します。

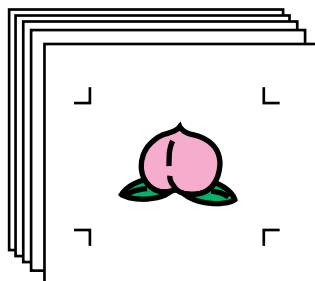
トンボ認識を中止する時は、 トンボ認識解除 ボタンをクリックします。

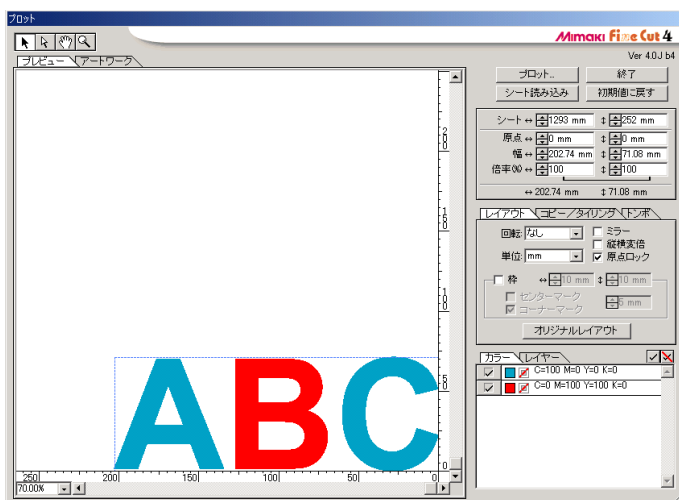
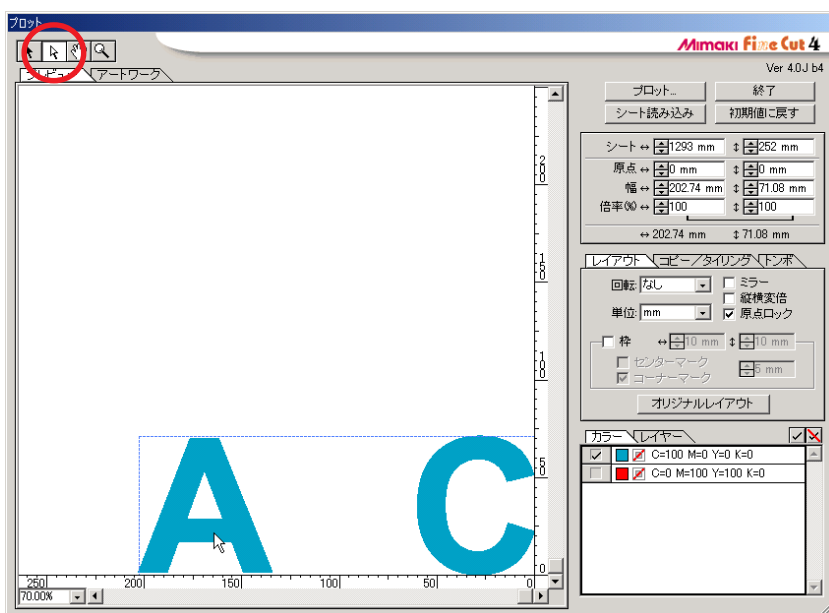
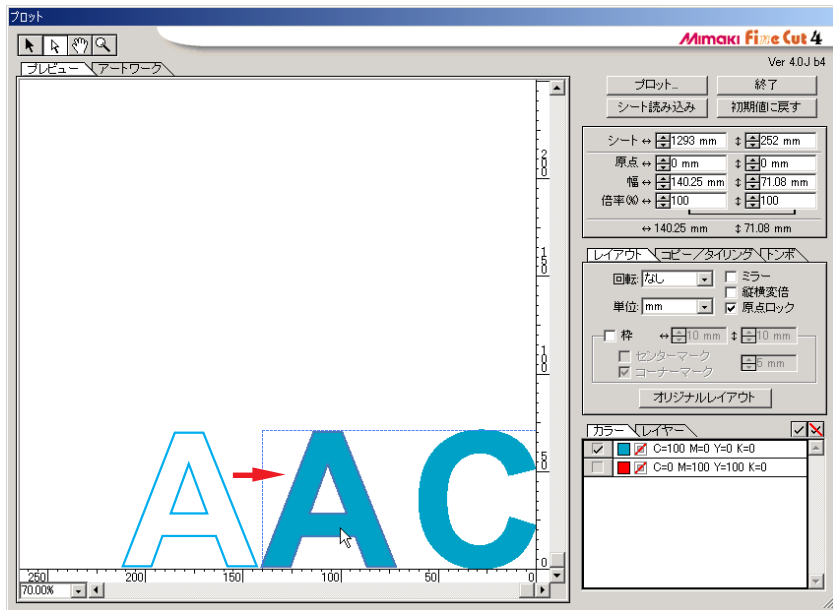
4　プロットダイアログの [プロット] ボタンをクリックします。

プロッタ出力ダイアログを表示します。（⇒ 70 ページ）

5　[プロット] をクリックし、プロットを開始します。

6　1 枚目をカットしたら、「CG-FX シリーズ」プロッタのパネルに以下のメッセージを表示します。

シートコウカン　シテクダサイ

7　次のシートをセットすると、自動的にトンボを検出し、カットを行います。

シートを有効に使う

オブジェクトを移動して、シートの無駄を省きましょう。
例えば色の違う ABC をカラー別にカットする場合、A と C をカットすると、色の異なる B の部分が空白になってしまいます。
空白の箇所にオブジェクトを移動してカットしてみましょう。

1　ダイレクト選択ツールで、移動するオブジェクトを選択します。

2　オブジェクトを選択したまま、移動する位置にドラッグします。

トラッピング処理を行う

オブジェクトが重なっているレイアウトは、色の重なる部分に隙間ができてしまう場合があります。トラッピング処理を行っておくと、隙間ができるのを防げます。

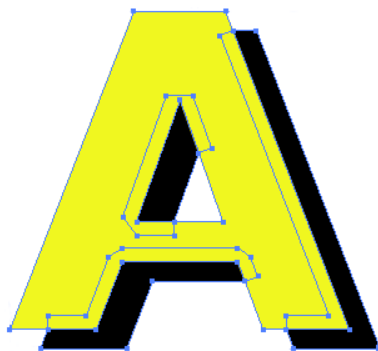
1　認識するオブジェクトを選択します。

2　「FineCut メニュー」の[トラッピング]ボタンをクリックします。

またはIllustratorの〔ファイル〕メニューの〔Fine Cut〕から〔トラッピング〕を選択します。

3　トラップサイズと重ね順の設定を行います。

リストをドラッグして、重ね合わせの順序を変更できます。
設定後、OK をクリックします。

4 オブジェクトがトラッピングされます。

カラーライブラリを使ってシート色を指定する

FineCut CD-ROM内の「カラーライブラリ」フォルダには、各シート（フィルム）メーカー様からご提供頂いた、スウォッチライブラリ、およびカラーチャート・プラグインが含まれています。カラーライブラリをインストールすると、シート（フィルム）の色見本をIllustrator上に表示し、データの塗りつぶしや線の色として指定することができます。

ご提供メーカー（順不同）

会社名	カラーライブラリ・タイプ
株式会社中川ケミカル	カラーチャート・プラグイン
住友スリーエム株式会社	スウォッチライブラリ
積水化学工業株式会社	スウォッチライブラリ
桜井株式会社	スウォッチライブラリ
ニチエ株式会社	スウォッチライブラリ

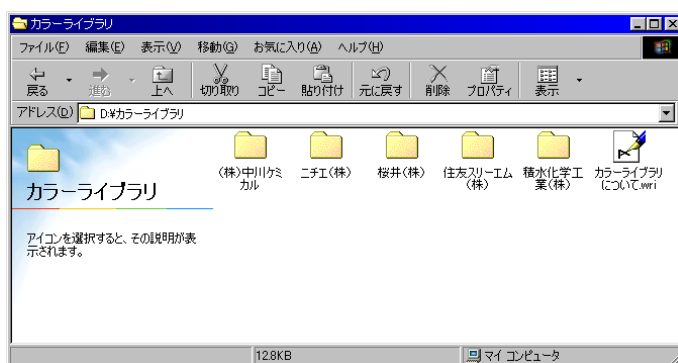
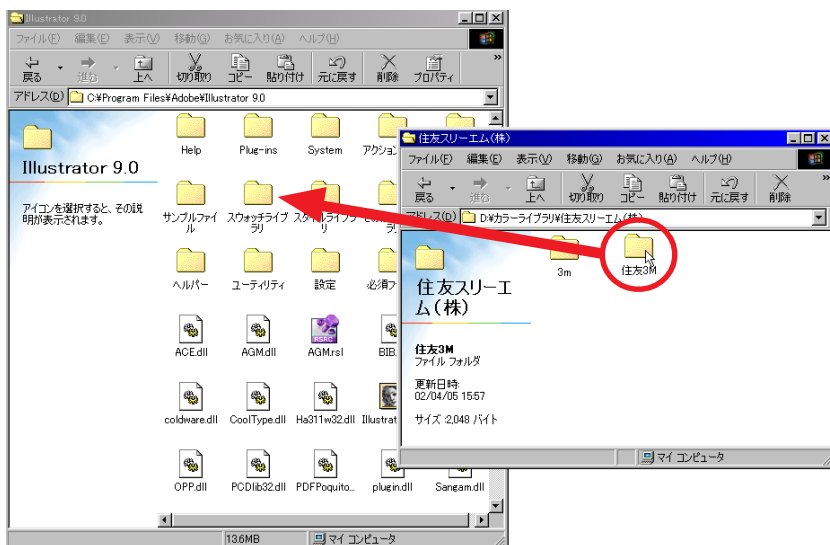
動作環境

Windows		Adobe Illustrator 7.0J～10J
Macintosh	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J～9.02J
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J～10J

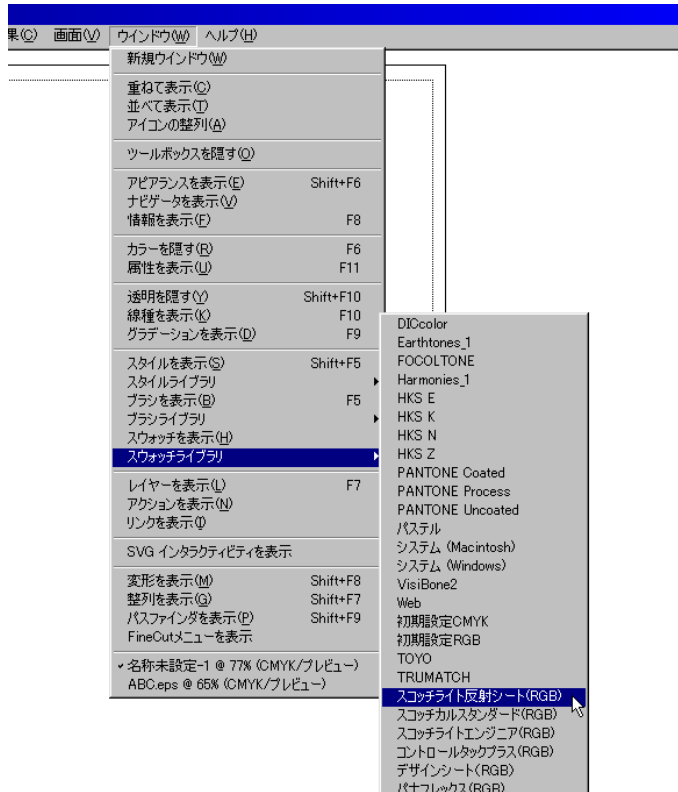
カラーライブラリを使用して発生したいかなる障害に関しても、株式会社ミマキエンジニアリングおよびカラーライブラリメーカーは責任を負いません。あらかじめご了承の上、ご使用ください。

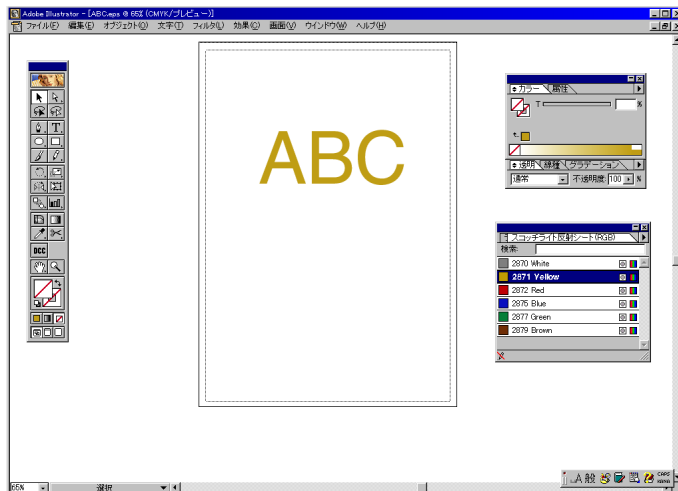
1. インストールする

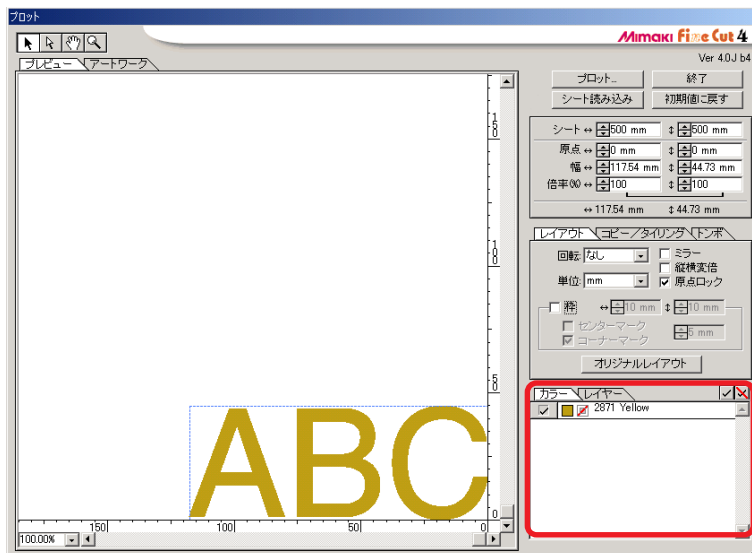
スウォッチライブラリをインストールしてみましょう。
(カラーチャート・プラグインは、インストーラの指示に従ってインストールしてください。)

1　FineCutのCD-ROM内にある「カラーライブラリ」フォルダを開きます。

2　インストールするスウォッチライブラリ・ファイルをIllustratorの「スウォッチライブラリ」にドラッグ&ドロップします。

2. カラーライブラリを使用する

1　Illustrator を起動します。

2　Illustrator の[ウィンドウ]メニューの[スウォッチライブラリ]から、使用するライブラリを選択します。

3　カッティングシート（フィルム）の色見本が、カラーパレットとして表示されます。

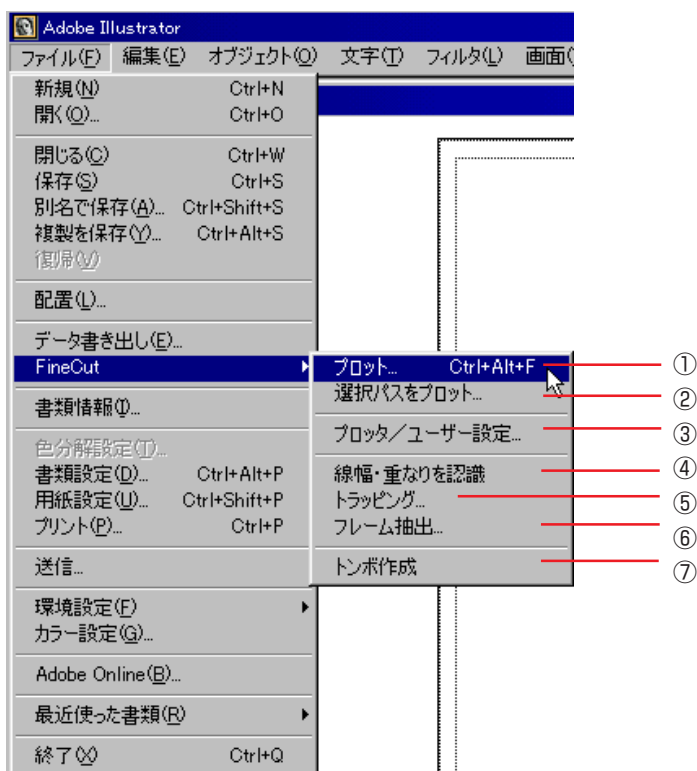
4　カットするデータに、カラーパレット内の色（シート名）を指定します。

5　「FineCut メニュー」の[プロット]ボタンをクリックします。

または Illustrator の［ファイル］メニューの［FineCut］から、[プロット]を選択します。

6　指定したシートをプロッタにセットし、カットします。

（例では「スコッチライト反射シート 2871 Yellow」をセットします。）

FineCut メニューについて

FineCut のメニューについて説明します。
以下の方法でメニューを選択します。

1 Illustrator のファイルメニューから「FineCut」を選択します。

2 Illustratorのウィンドウメニューから「FineCutメニューを表示」を選択します。
以下の「FineCut メニュー」を表示します。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

① [プロット ...]：カットエリアを表示し、オブジェクトのレイアウトや各種オプションを設定します。また、オブジェクトをカットするために、プロッタへオブジェクトを送信します。（⇒ 63 ページ）

② [選択パスをプロット ...]：選択したオブジェクトのみをプロットします。

③ [プロッタ / ユーザ設定 ...]：お使いになるプロッタと接続するための通信条件等を設定します。（⇒ 59 ページ）

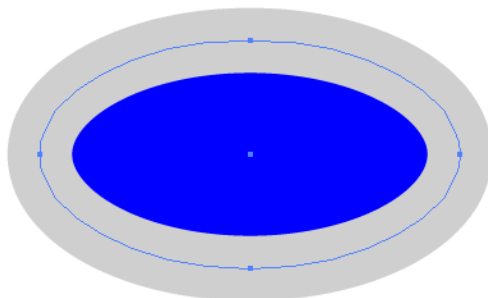
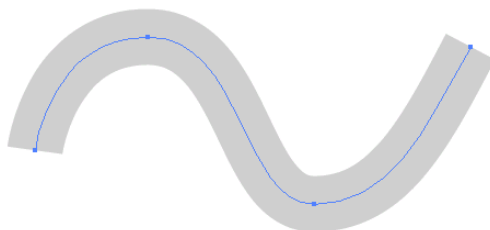
④ [線幅・重なりを認識]：選択したオブジェクトの線幅や重なりを認識します。（⇒ 31 ページ）

⑤ [トラッピング]：選択したオブジェクトをトラッピング処理します。（⇒ 50 ページ）

⑥ [フレーム抽出 ...]：選択したオブジェクトにフレームを作成します。（⇒ 36 ページ）

⑦ [トンボ作成]：プロッタが認識できるトンボを作成します。（⇒ 38 ページ）

オブジェクトの塗りと線について

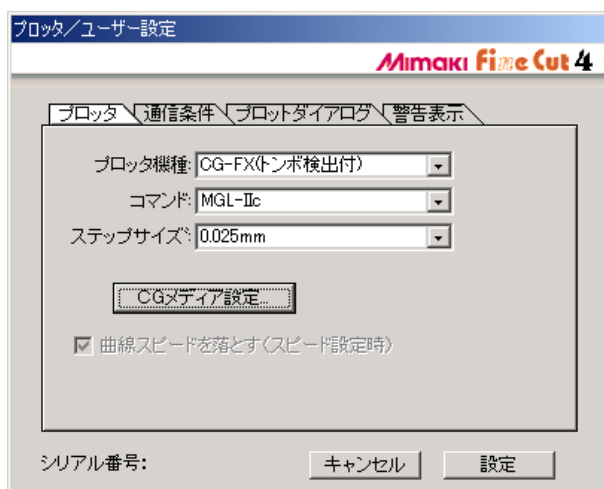
下の図は、楕円の塗りを設定して、線を太らせたオブジェクトです。
線の輪郭をカットせず、塗りの輪郭（線の中心）をカットします。

塗りがないオブジェクトは、線のパスをカットします。
線は、太い線・細い線に関係なく、パスがカット対象になります。パスは、オブジェクトを選択したときや、Illustrator のアートワークモードで確認できます。

パスとは ...
Illustratorの描画ツールを使って作成する線です。グラフィックオブジェクトのアウトラインもパスで構成しています。Illustratorで作成した直線や長方形のアウトラインは、いずれもパスの典型的な例です。

線の幅を認識させてカットしたり、線と塗りを分けてカットする場合は、「線幅、重なりを認識させる」（⇒ 31 ページ）をご覧ください。

プロッタ / ユーザ設定について

FineCut とプロッタが通信できるように、通信条件等を設定します。

入力する値が、プロッタ側で設定した値と異なると、正常にオブジェクトの出力が行えません。

「FineCut メニュー」の〔プロッタ / ユーザ設定 ...〕ボタンをクリックします。
またはIllustratorの〔ファイル〕メニューの〔Fine Cut〕から、〔プロッタ/ユーザ設定 ...〕を選択します。

① **プロッタ**

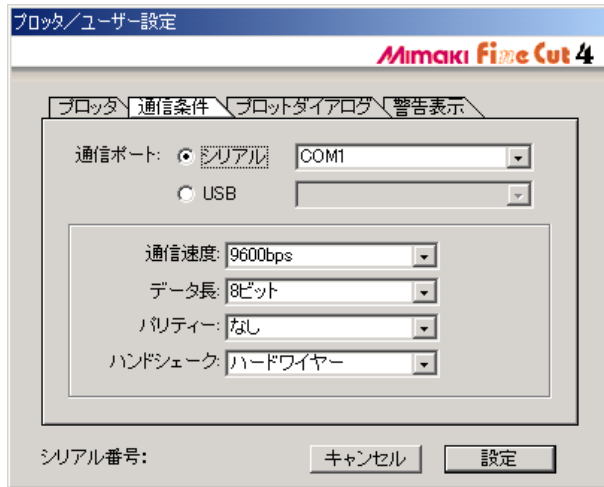
接続しているプロッタについて設定します。
詳しくは、接続しているプロッタの取扱説明書をご覧ください。

プロッタ機種： 接続しているプロッタの機種を選択します。

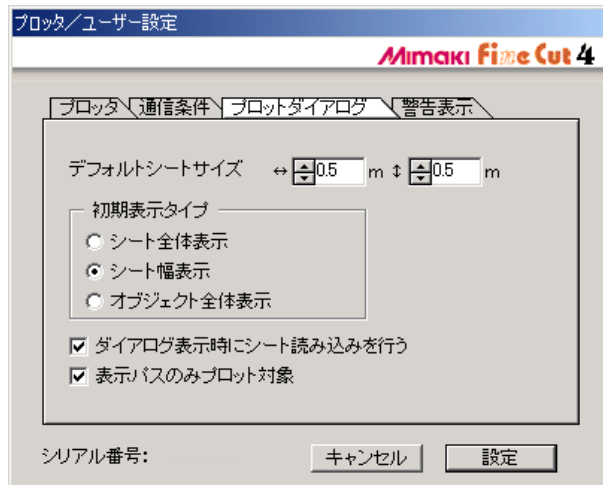
コマンド： プロッタで設定しているコマンドを選択します。

ステップサイズ： プロッタで設定しているステップサイズを選択します。

＊＊メディア設定 ... クリックすると、メディア / ツール編集ダイアログを開きます。（⇒ 32 ページ）メディアに関する設定が可能です。

曲線スピードを落とす（スピード設定時）：
CF シリーズをご使用の際、この機能が有効になります。チェックをつけると、曲線部分のカットスピードが落ち、曲線も滑らかにカットできます。

② 通信条件

インターフェイスの通信条件を選択します。

通信ポート：	プロッタを接続しているポートを選択します。「MIMAKI CG-FXシリーズ」をご使用の際は、USB接続が可能です。（プロッタと接続し、プロッタの電源がONの場合）「USB」を選択し右側のポップアップメニューをクリックすると、「CG-FX-xx」が表示されます。
通信速度：	データの転送速度を選択します。（シリアルのみ）
データ長：	データビットを選択します。（シリアルのみ）
パリティー：	パリティーチェックについて選択します。（シリアルのみ）
ハンドシェーク：	ハンドシェイク方式について選択します。（シリアルのみ）

③ プロットダイアログ

デフォルトシートサイズ：
FineCutはプロットダイアログを表示する際、プロッタからシートサイズを読み込みます。この読み込みが正常に行われなかった場合、ここで指定したサイズでプレビューを表示します。

初期表示タイプ：
プロットダイアログを表示する際の、表示方法を選択します。

ダイアログ表示時にシート読み込みを行う：
プロットダイアログを表示する際にシートサイズを読み込みます。

表示パスのみプロット対象：
ここにチェックをつけておくと、非表示パス部分はプロット対象になりません。

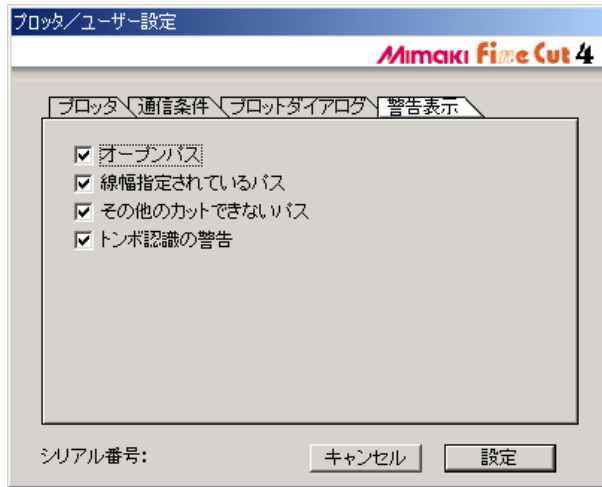
プロッタ／ユーザー設定

Mimaki FineCut 4

プロッタ 通信条件 プロットダイアログ 警告表示

☑ オープンパス
☑ 線幅指定されているパス
☑ その他のカットできないパス
☑ トンボ認識の警告

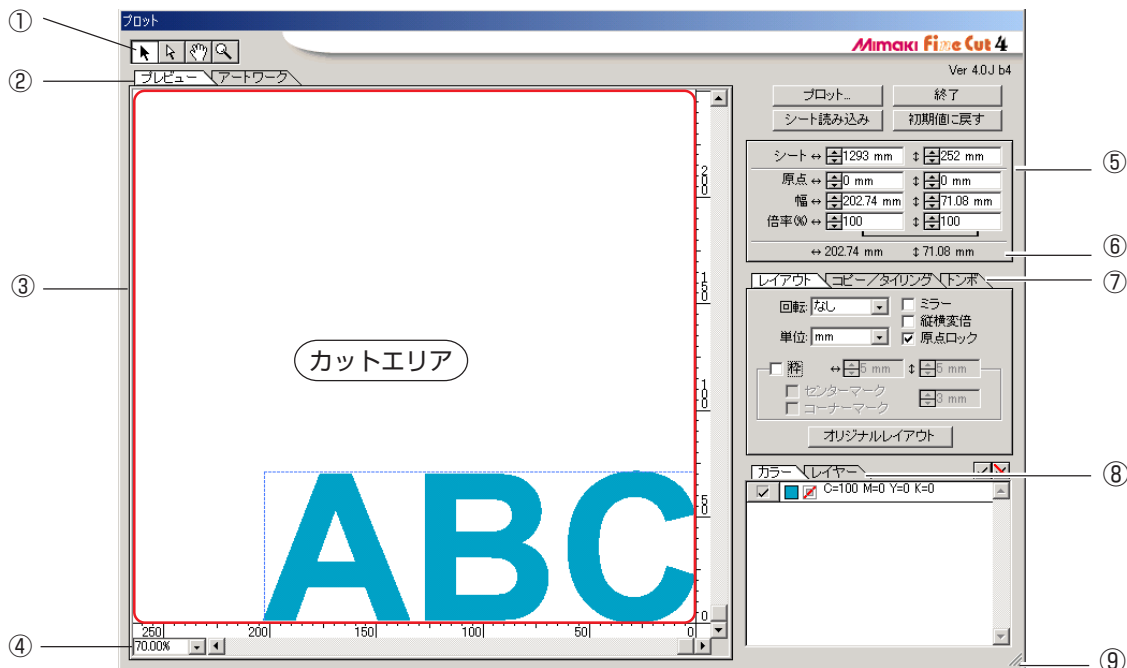
シリアル番号:

キャンセル 設定

④ 警告表示

ここにチェックをつけておくと、以下の状態の際に警告を表示します。

オープンパス：	パスが閉じていない。 （始点と終点が同じでない）
線幅指定されているパス：	線幅が指定されているパスがある。
その他のカットできないパス：	グラデーションメッシュツール、ブラシツール等を使用して、オブジェクトを作成している。オブジェクトにマスクがかけられている。またはオブジェクトがラスター画像である。
トンボ認識の警告：	トンボ認識実行時の 2 点補正を行っている。

プロットダイアログについて

プロットダイアログについて説明します。

①ツールボックス

選択ツール：	表示しているオブジェクト全体の移動･拡大/縮小を行います。また、タイリング機能の分割線を移動します。
ダイレクト選択ツール：	オブジェクトの一部分を選択し、移動できます。シートの空いている位置にオブジェクトを移動し、シートを無駄なく使うことができます。
表示領域変更ツール：	オブジェクト表示する領域を変更します。
ズームツール：	ウィンドウの表示を拡大、縮小します。

②画面表示モード

表示方法を変えることができます。プレビューモードではカラー表示、アートワークモードではオブジェクトをパスとして表示します。
新規にプロットダイアログを開くと、プレビューモードで表示します。アートワークモードにすると、白色のオブジェクトやカットラインのイメージを確認しやすくなります。

③レイアウトエリア

白い部分が、シートから読み込んだ有効カットエリアです。横軸にシート幅、縦軸にシートの長さを表示しています。
カットエリアからオブジェクトがはみ出ると、プロットボタンの左横に ⚠ マークを表示します。⚠ マークをクリックすると、エラー内容を表示します。

④ズームサイズ表示

現在のズームサイズを表示します。ズームサイズを選択、または入力することができます。

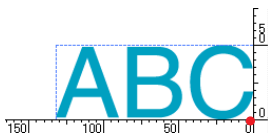
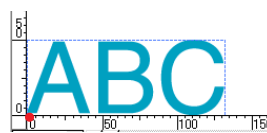
⑤サイズ表示ボックス

シート

プロッタにセットしたシートの寸法を元に、カットエリアを表示します。
シートの寸法（カットエリアの幅と長さ）を入力します。

原 点

レイアウトエリアの右下隅（Mimaki CG シリーズ）、または左下隅（Mimaki CF シリーズ）が原点になります。FineCut を起動した直後の原点位置は、レイアウトエリアの横 0mm, 縦 0mm の位置です。原点の値を変更して、オブジェクトを移動できます。

Mimaki CG シリーズ

Mimaki CF シリーズ

幅

オブジェクトの横幅と縦幅を変更できます。
横幅と縦幅の値が連動している場合（倍率の下に“⌊⌋”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの縦横変倍のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

倍率 （⇒ 19 ページ）

オブジェクトの横幅と縦幅の倍率を設定します。横幅と縦幅の値が連動している場合（倍率の下に“⌊⌋”マークがついている場合）、横幅と縦幅の比率が変わりません。横幅と縦幅を別々に変える場合は、オプションの縦横変倍のチェックボックスをクリックして、チェックを付けます。

⑥全体サイズ

通常は、オブジェクトの幅と高さを表示します。
コピーで個数を入力した場合は、横方向および縦方向のコピーした個数分の長さを表示します。
余白や枠が設定してあれば、その値も含みます。

⑦レイアウト・オプション

[レイアウト]

回転
時計回りに90°ずつ回転できます。

単位
cm、mm、inch、およびptのいずれかを設定します。

ミラー
オブジェクトを鏡で写したように反転してカットします。

縦横変倍（⇒19ページ）
オブジェクトの横幅と縦幅の比率を変えて、大きさを変えることができます。

原点ロック（⇒29ページ）
ロックすると、オブジェクトの位置関係が保持されます。
ロックを外すと、選択した特定の色（またはレイヤー）のオブジェクトをシートの無駄なくカットできます。

枠
カットするオブジェクトの周りに、枠をカットします。また、オブジェクトから枠までの距離が設定できます。枠をカットすると、不要なシートのはぎ取りが容易になります。
またFineCut専用機能では、センターマーク、コーナーマークをつけると、カットしたシートを貼る際の位置合わせが簡単にできます。（⇒21ページ）

[コピー / タイリング]

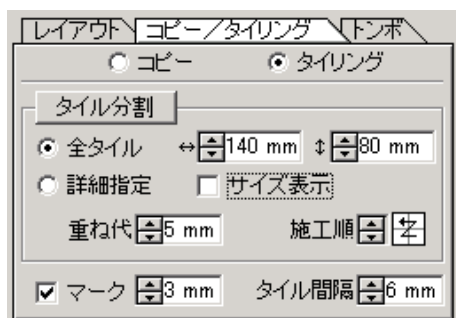
< コピー >（⇒ 23 ページ）

個数

1つのオブジェクトを横方向および縦方向にコピーする個数を入力します。

余白

オブジェクト間の余白を横方向および縦方向に設定します。

< タイリング >（⇒ 25 ページ）

タイル分割

分割の設定を行った後に、このボタンをクリックすると分割を実行します。

全タイル

タイルのサイズを入力します。

詳細指定

自在に分割します。ここを選択し、選択ツール（⇒ 62 ページ）で、分割線を移動します。

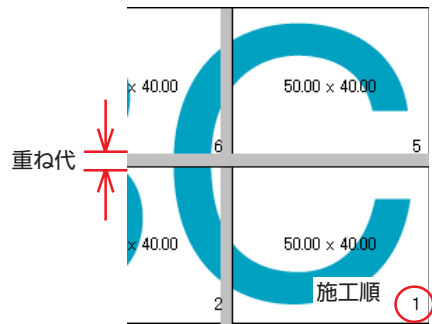
サイズ表示

各タイルのサイズを表示します。

重ね代

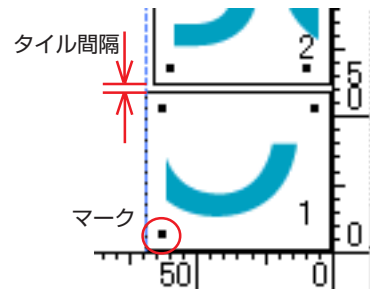
タイルの重ね代を設定します。

施工順

オブジェクトをカットする順番を選択します。

マーク

分割したオブジェクトにマークをつけます。
マークを合わせると、分割前のオブジェクトを復元できます。

タイル間隔

各タイルをカットする間隔を設定します。

＜トンボ＞ （⇒ 38 ページ）

トンボ認識

プロッタ機種で「CG-EX（トンボ検出付）」、または「CG-FX（トンボ検出付）」を選択している場合のみ、この機能が有効になります。
マークセンサー付きカッティングプロッタ「Mimaki CG-EX シリーズ」、または「Mimaki CG-FXシリーズ」でトンボ検出を実行すると、そのトンボ読み取り結果に対して自動サイズ補正を行います。

トンボ認識解除

トンボ認識を中止します。

「Mimaki CG-FXシリーズ」をご使用の場合は、ロールシートとハザイシートでの各検出方法を設定できます。（⇒ 41 ページ）

連続回数

連続認識する回数を設定します。
ロールシートの場合は、シートの各方向へデータの個数を設定します。
ハザイシートの場合は、交換するシートの枚数を設定します。

検出カ所

１番目のデータのトンボ検出カ所を選択します。
２番目以降のデータのトンボ検出カ所を選択します。

⑧選択リスト（⇒ 28 ページ）

オブジェクトをカラー別、またはレイヤー別にカットするかを選択します。
タイリング機能を実行すると、タイル・リストが表れます。
選択した内容をリストに表示します。
左端のチェックボックスに、チェックをつけたオブジェクトのみをカットします。
カラーリストでは、塗りの色、線の色を選択して各情報を表示します。

⑨サイズ変更ボタン

ダイアログのサイズを変更したい時、このボタンをクリックしたまま、変更したい大きさにドラッグします。

<各ボタンについて>

終了 ボタン

プロットダイアログを閉じます。

プロット ボタン

「プロット出力」ダイアログを表示します。(⇒70ページ)

プロット ボタンの左横に ⚠ マークを表示している場合は、カットエリアからオブジェクトがはみ出ています。オブジェクトをカットエリア内に移動してください。

シート読み込み ボタン

プロッタにセットしたシート寸法を読み込みます。

シート読み込み ボタンの左横に ⚠ マークを表示している場合は、プロッタのシート寸法を読み込むことができません。

プロッタをREMOTE状態にしてから、シート読み込み ボタンをクリックして、シート寸法を読み込んでください。

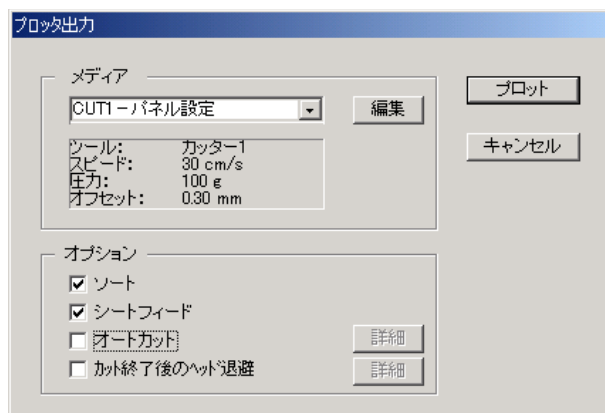
初期値に戻す ボタン

プロットダイアログを開いたと時の状態に戻します。ただし、シート寸法、コピーの余白、枠、単位、原点ロック、そしてプロットオプションの設定は戻りません。

オリジナルレイアウト ボタン

ダイレクト選択ツールで選択し、移動したオブジェクトのレイアウトを初期状態に戻します。

プロッタ出力ダイアログについて

プロット ボタンをクリックするとプロッタ出力ダイアログを表示します。

①メディア（⇒32ページ）

（⇒32ページ）

プロッタにセットしてあるメディアを選択します。編集 ボタンをクリックすると、メディアの追加や、メディア別にカット条件を設定できます。

②オプション

ソート

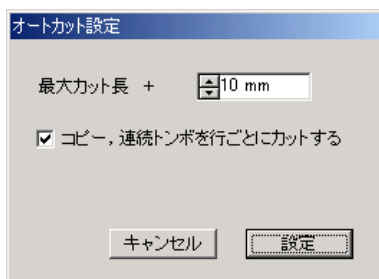
「Mimaki CGシリーズ」の場合、ヘッドの無駄な移動を最小限にしたソートを行い、効率良くカットできます。
「Mimaki CFシリーズ」の場合、周長の短いオブジェクトからカットするようにソートを行います。

シートフィード(「Mimaki CGシリーズ」のMGL-IIcのみ)

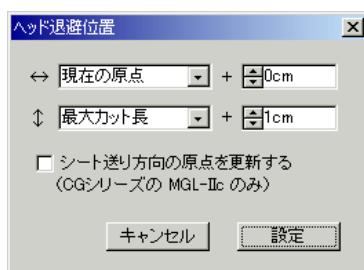
カットする前に、シートをフィードして、データを最後までカットできるか確認します。

失敗した時はプロッタ側にエラーを表示します。プロットを中止し、シートをセットし直して再度プロットしてください。

オートカット

「MIMAI CG-FX シリーズ」をご使用の際、この機能が有効になります。
ロールシートで連続カットを行う場合、カット終了後、自動的にシートを切り離します。
詳細 ボタンをクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒ 43 ページ)

最大カット長 +
最後にプロットした行から、シートをカットするまでの長さを設定します。
コピー、連続トンボを行ごとにカットする
データを行ごとにカットするか、選択します。

カット終了後のヘッド退避

データを出力した後、ヘッドを指定位置に移動させ、データの確認を容易にします。
詳細 ボタンをクリックすると、以下の設定を行うことができます。(⇒ 34 ページ)

幅方向のヘッド退避位置
幅方向のヘッド退避位置を設定します。
基準位置を「現在の原点」、「最大カット幅」から選択します。
長さ方向のヘッド退避位置
長さ方向のヘッド退避位置を設定します。
基準位置を「現在の原点」、「最大カット長」から選択します。
シート送り方向の原点を更新する
ヘッドの退避位置を原点に設定します。

原点更新は Mimaki CGシリーズの MGL-IIcのみ使用できます。

シート寸法が変更できない

＊ コマンドが MGL-IIcの場合
プロッタ側の原点を移動して シート読み込み ボタンをクリックしても、シート寸法は変わりません。常にプロッタにセットしているシートサイズを表示します。この場合、レイアウトエリアのカットエリア内にデータが収まっていても、データがはみ出してカットする場合があります。

＊ コマンドが MGL-Icの場合
有効カットエリアを表示するため、プロッタ側で原点を移動しても、カットエリア内にデータが収まっていれば、問題なくカットできます。

線幅・重なり認識、フレーム抽出、トラッピング時にメモリ不足になる

「線幅・重なりを認識」、「フレーム抽出」、「トラッピング」機能は、複雑なオブジェクトでは大量のメモリを消費します。マシンのスペックによっては、目的のオブジェクトがメモリ不足で処理できないことがあります。オブジェクトの種類にもよりますが、オブジェクト全てを選択して実行せず、いくつかに分割して選択して複数回実行すると、メモリ不足のエラーを回避できることがあります。

例 1： 複雑なオブジェクトで線幅･重なりを認識する場合、タイトルとオブジェクトで分かれているようなオブジェクトは、全てを選択せず、別々に選択して実行します。重なっている部分があれば、重なっている部分のみ選択して実行します。

例 2： 複雑なオブジェクトでフレーム抽出する場合、外枠があるようなオブジェクトは、外枠のパスだけを選択してフレーム抽出を実行すると、無駄なメモリを消費することなく、スピーディに処理を実行できます。

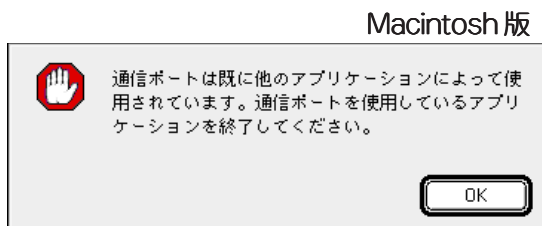
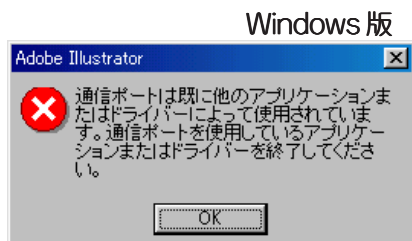
プロットの時に通信ポートエラーになる

FineCutを使用中、プロット ボタンを押したら下記のエラーメッセージが表示された。

Windows 版

Adobe Illustrator

通信ポートは既に他のアプリケーションまたはドライバーによって使用されています。通信ポートを使用しているアプリケーションまたはドライバーを終了してください。

OK

Macintosh 版

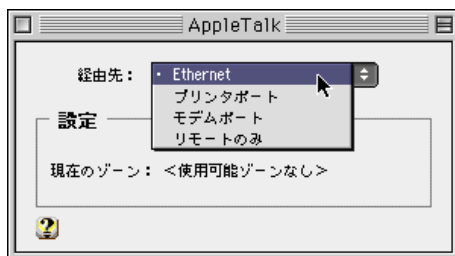
＊ Windowsの場合

タブレットなどの周辺機器のドライバソフトでシリアルポートを占有するものをお使いの場合、通信ポートエラーが起こります。この場合は、他のシリアルポートを使用する、または周辺機器のドライバソフトを一時停止にするなどの方法で、シリアルポートを開放すると使用できます。

＊ Macintoshの場合

プロッタを接続しているポートが、すでにAppleTalk で使用している可能性があります。

セレクタでAppleTalk を「不使用」に設定します。または、AppleTalk コントロールパネル書類で、プロッタを接続していないポートを選択してください。

プリンタポートにプロッタを接続している場合は、「モデムポート」または「Ethernet」等を選択してください。

パスワードが認証されない

FineCut は、バージョンアップごとにパスワードが変更されます。
お手数ですが、CD-ROM に添付の「ユーザ登録カード」を FAX でご送信ください。
新しいパスワードが取得できます。新しいパスワードが発行されるまでは、「後で登録」ボタンをクリックすると、通常にご利用いただけます。

弊社では、お客様へのサポートおよびバージョンアップサービスなどを円滑に行うため、お客様がご利用されている環境情報を弊社データベースに登録させていただいております。
登録された情報は、一切外部へ持ち出されることはありません。

索引

ス

セ

タ

ツ

テ

ト

ヌ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

ユ

ラ

レ

ロ

ワ

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング
http://www.mimaki.co.jp

東京支社
TEL 03-5420-8680
東京都品川区北品川5-9-41　TKB御殿山ビル
〒141-0001
FAX　03-5420-8686

大阪支店
TEL 06-6388-8258
大阪府吹田市江坂町1-13-41　明治生命江坂ビル
〒564-0063
FAX　06-6388-8265

札幌営業所
TEL 011-200-5500
札幌市中央区北２条東-1-5-2 サニープリンス
〒060-0032
FAX　011-200-5510

仙台営業所
TEL 022-213-7303
仙台市青葉区上杉1-6-22　サンビル
〒980-0011
FAX　022-213-7305

長野営業所
TEL 0268-64-2377
長野県小県郡東部町大字加沢 1333-3
〒389-0514
FAX　0268-64-2399

金沢営業所
TEL 076-222-5380
金沢市西念4-24-30　金沢M.Gビル
〒920-0024
FAX　076-222-5381

名古屋営業所
TEL 052-777-7245
名古屋市名東区上社1-119
〒465-0025
FAX　052-777-7309

広島営業所
TEL 082-876-3103
広島市安佐南区緑井6-10-14　ﾒｲｿﾞﾝ高津屋
〒730-0103
FAX　082-876-3108

福岡営業所
TEL 092-612-1355
福岡市博多区吉塚5-11-15
〒812-0041
FAX　092-612-1356

お問い合わせ時間：　午前１０：００より午後５：００まで
営　業　日　：　月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）